

パネルディスカッション I

地域医療を守り抜くためのDXの活用

■発表者

一般社団法人秋田県医師会副会長
伊藤 医院長

伊藤 伸一 氏 … p 1

岐阜県: 県北西部地域医療センター国保白鳥病院長

廣瀬 英生 氏 … p 33

特定医療法人谷田会 谷田病院事務部長

藤井 将志 氏 … p 46

■講評

国診協副会長
千葉県: 国保直営総合病院君津中央病院名誉院長

海保 隆

■司会

国診協 地域医療・学術委員会副委員長
富山県: 南砺市民病院長

清水 幸裕

地域医療を守り抜くためのDXの活用

秋田県で取り組むクラウドシステム「ナラティブブック」を活用した 患者の「物語」と「語り」の共有による医療

一般社団法人秋田県医師会副会長

伊藤医院院長

伊藤 伸一

【目的】

ICTは医療介護の情報を時間的・空間的に自由に繋ぐことを可能にした。しかし、課題として以下が指摘できる。①通信環境の整備費用：補助金でサーバ等は整備されたが事業所の費用負担が考慮されない、②ローカルシステムと非連携：カルテ等との連携が無い、③本人不在の情報共有：患者の価値観や人生の目標の情報は共有されていない。

秋田県医師会では、ICT活用の課題解決と患者主体の医療の推進のため、「患者の情報は本人に持たせるべきである」という視点で、医療・介護ICT連携促進事業「ナラティブブック秋田」を展開してきた。

【方法】

患者本人が情報を管理・共有するクラウドシステムは、ナラティブブック（クロスケアフィールド社）を利用した。秋田県医師会に運営委員会を設置してシステムの運用管理を行った。医療・介護従事者説明会、患者・家族に向けた説明会を各地域で開催し、普及に努めた。

【結果】

2024年11月30日においてNB秋田に参加している医療・介護施設数は、由利本荘支部（102）、能代山本支部（59）、横手支部（39）、湯沢雄勝支部（25）、大仙・仙北支部（57）、男鹿潟上南秋支部（13）大館北秋田支部（31）、角鹿支部（3）秋田支部（87）で全体では419施設であった。医療・介護従事者は、本人とかがかりつけ設定を行っている者が患者宅の訪問後、状況や対応内容等を投稿した。本人の意思決定に関わることや家族から得た情報は、チーム全体で共有し対応出来るよう心がけた。医療・介護従事者から、チーム全体の連絡の手間が大きく削減できた事、患者の想いや家族の意見を共有できコミュニケーションを取りやすくなった事が評価された。

【考察】

患者中心の情報管理を構築し、本人の想いや意思を確認でき、チーム全員で患者主体の生活に寄り添うためのモデルが構築できた。本事業は2018年のグッドデザイン賞 Best100ならびにグッドフォーカス賞（地域社会デザイン）を受賞し、地域医療介護への関わり方が高く評価された。

【結論】

利用した本人や家族からは、自分たちが見守られていることを実感でき、不安が軽減され安心してきたとのコメントが多く、多職種からは、チーム全体への連絡の手間が大きく削減でき、患者や家族の想いを共有でき、コミュニケーションがとりやすくなった等と評価された。本取組の特徴は、患者の情報の一元化、本人の想いを聴く本人主体の情報共有、意思決定支援にも資することであり、このような本人主体の医療・ケア体制が全国に広がることを心から願っている。

秋田県で取り組むクラウドシステム「ナラティブブック」を活用した 患者の「物語」と「語り」の共有による医療



患者の「物語」を
チームみんなで共有し
連携して医療を行う

秋田県医師会副会長
伊藤伸一

令和6年度地域包括医療・ケア研修会
富士ソフト アキバプラザ 1/17/2025

令和6年度地域包括医療・ケア研修会 COI 開示

筆頭発表者名： 伊藤 伸一

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。

ナラティブとは何か

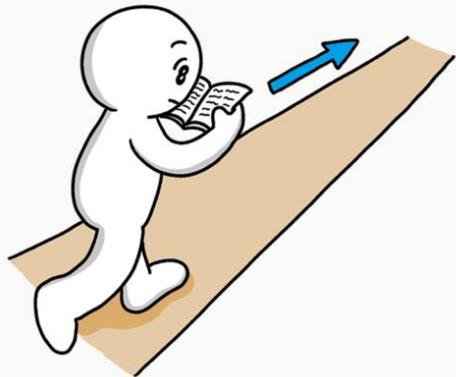
ナラティブ = 物語 + 語り



この状況全体（プロセス・空間）

ストーリー と ナラティブの違い

ストーリー



誰かにつくられた
フィクションの物語

ナラティブ



色々な人に参加してもらって
進める自然発生の物語

ストーリー (Story)

物語の筋書きや内容のことであり、主人公や登場人物を中心に起承転結が展開され、聞き手も語り手も介在できない。

ナラティブ (Narrative)

語り手自信が紡いでいく物語であり、主人公自身が語り手になり、物語は変化し続けて終わりが無い。

私たちは「物語る動物」である



アラスデア・マッキンタイア
スコットランド・グラスゴー
出身のコミュニタリアニズ
ムの哲学者

4つの意味

1. 誰でも物語る
2. 物語ることで人生や経験を意味づけている
3. 自己アイデンティティを形成している
4. 他者の物語も一緒に紡いでいる（共同著作）
 - ※物語を語るには、相手が必要
 - ※相互作用があつて、影響し合う

スライド構成／金城隆展 「ナラティブの系譜」180324 より（一部改変）

なぜナラティブなのか？

エビデンス

- ・ 治るもの
- ・ 成果が見えるもの



ナラティブ

- ・ 治らないもの
- ・ 成果が見えにくいもの



医療が提供してきたもの

分水嶺

(方向性が決まる分かれ目)



自分の中での意味づけ

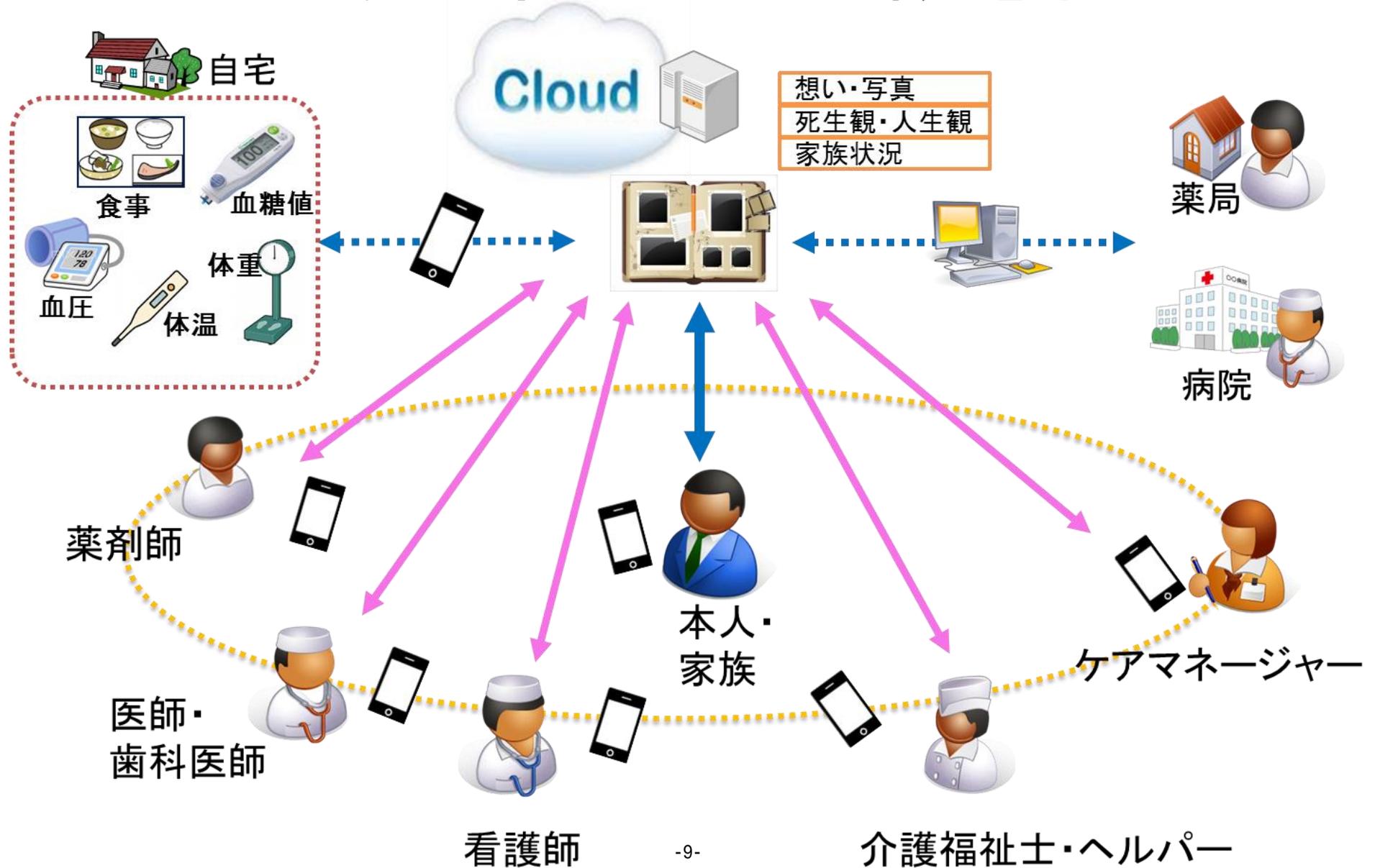
ナラティブブック

共有の新しい視点
個人情報は個人に持たせる
それをみんなで見に行く



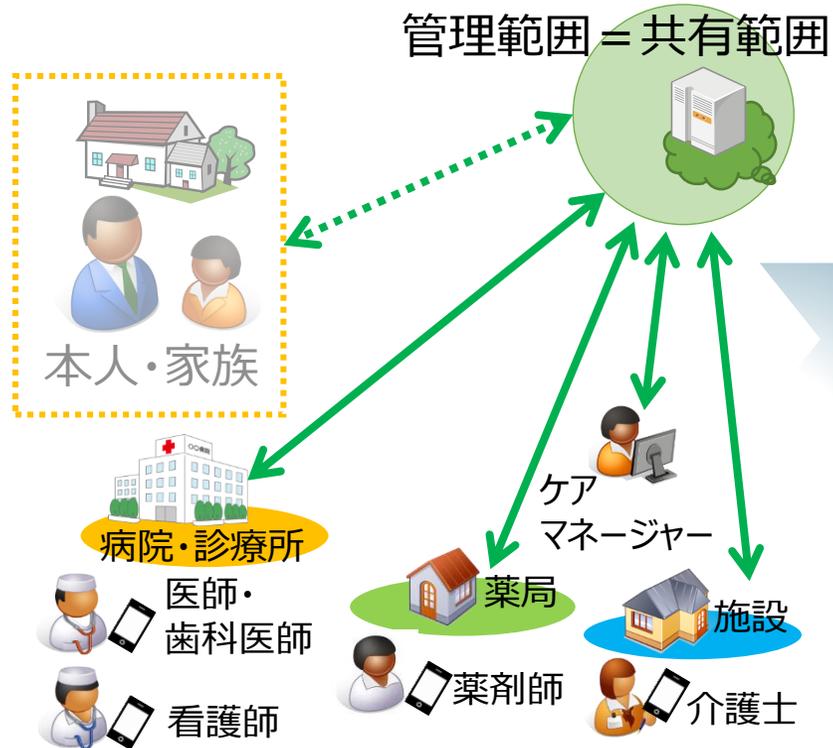
これがイノベーション

ナラティブ・ブック概念図



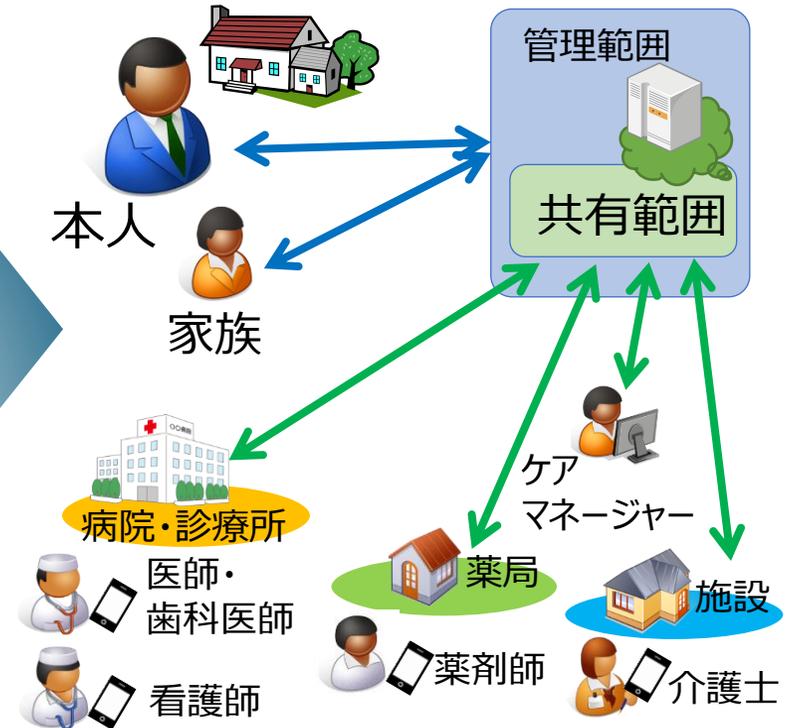
患者さんに寄り添い、支えるICTツールとは？

連携のためのデータ共有
(本人不在・処置記録の共有)



本人主体の記録管理
(個人主体・想いや生活の共有)

パラダイム
シフト



患者さんの意志を尊重

『ナラティブブック秋田』取り組みがなぜ必要なのか？ 在宅医療及び介護の現状と課題

① 提供情報が紙面であるため、

必要時に情報を探す手間が多く、保管や過去の記録の保存及び情報の共有に手間がかかる。

② データを医療機関側で管理しているため、

本人や家族が情報を知りたい際には、問合せをし、個々に所有されている情報を得なければならない。

③ 入力された情報が現場・組織でばらばらに紙ベースで管理されているため、

有機的に1人の人間を軸に観ることができない

④ 提供されているサービスと得られた結果などの評価方法が確立できていない。

秋田県在宅医療・介護ICT連携促進事業補助金

事業名：在宅医療・介護連携ICTツール
「ナラティブブック秋田（自分手帳）」

実施主体：一般社団法人秋田県医師会

実施期間：2019.1～2021.3（3カ年予定）

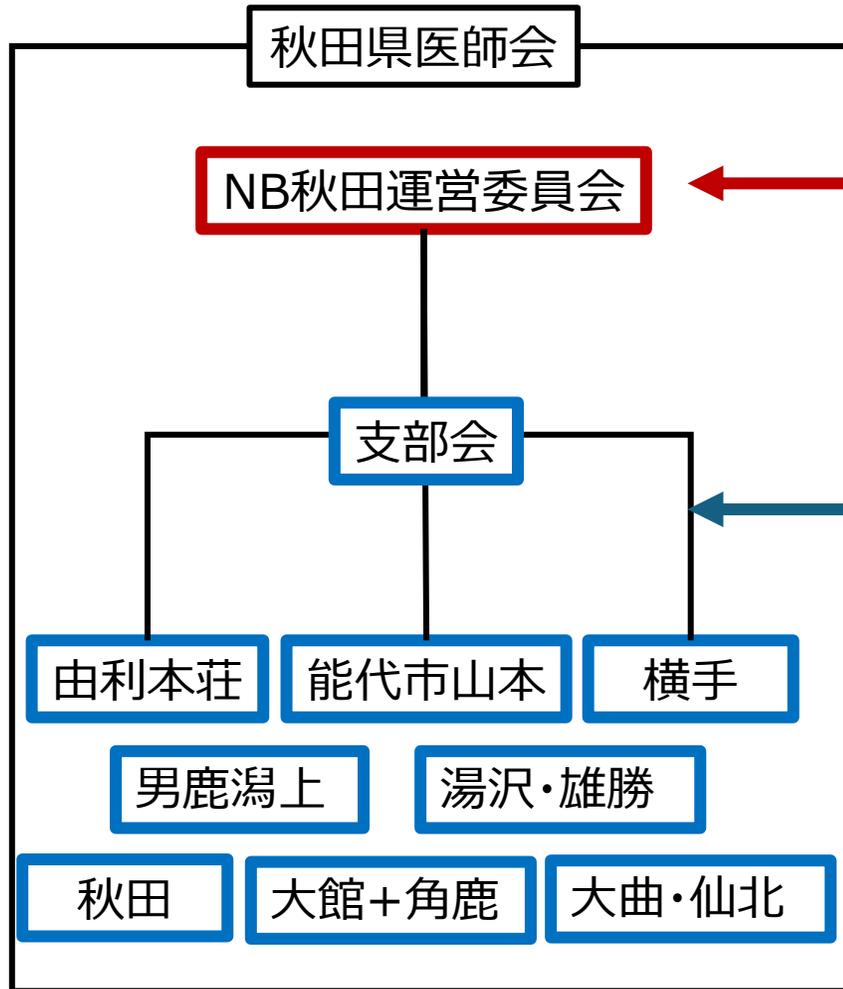


秋田県在宅医療・介護ICT連携推進事業補助金

実施主体：一般社団法人由利本荘医師会

実施期間：2015.10～2018.3（3カ年）

ナラティブブック秋田 運用体制



①運営委員会（年4回）

- ・運用ルールや手順の決定
- ・運用管理 + 課題改善
- ・会計、実施報告

②全体説明会(年1回)

- ・県内生活者への活動報告、認知向上 2回

③NB秋田サポーター育成研修会（年2回）

- ・事業参加者の事業・システム活用のサポーターの育成

①支部会（年4回）

- ・支部運用窓口
- ・運用管理 + 地域課題改善
- ・認知向上活動

②医療・介護従事者向け説明会（年4回）

- ・医療・介護従事者へのシステム活用説明会

③患者・家族向け説明会（年3回）

- ・患者・家族への事業及びシステム説明

※NB秋田・・・ナラティブブック秋田の略

ナラティブブック秋田 利用・参加の方法について



① 問合せ窓口

- ▶ 事業に関する問合せ
 - ・秋田県医師会 事務局
- ▶ 登録・利用に関する問合せ
 - ・あきた森の保健室
 - ・サポートデスク（電話対応）

② 運用関連資料

- ▶ 運用に関する資料
 - ・運用規約関連
 - ・施設利用申込 等
- ▶ システムの利用に関する資料
- ▶ システム利用に関する動画マニュアル

ナラティブブック秋田 各支部での活動 医療介護従事者・住民向けの説明会

目的

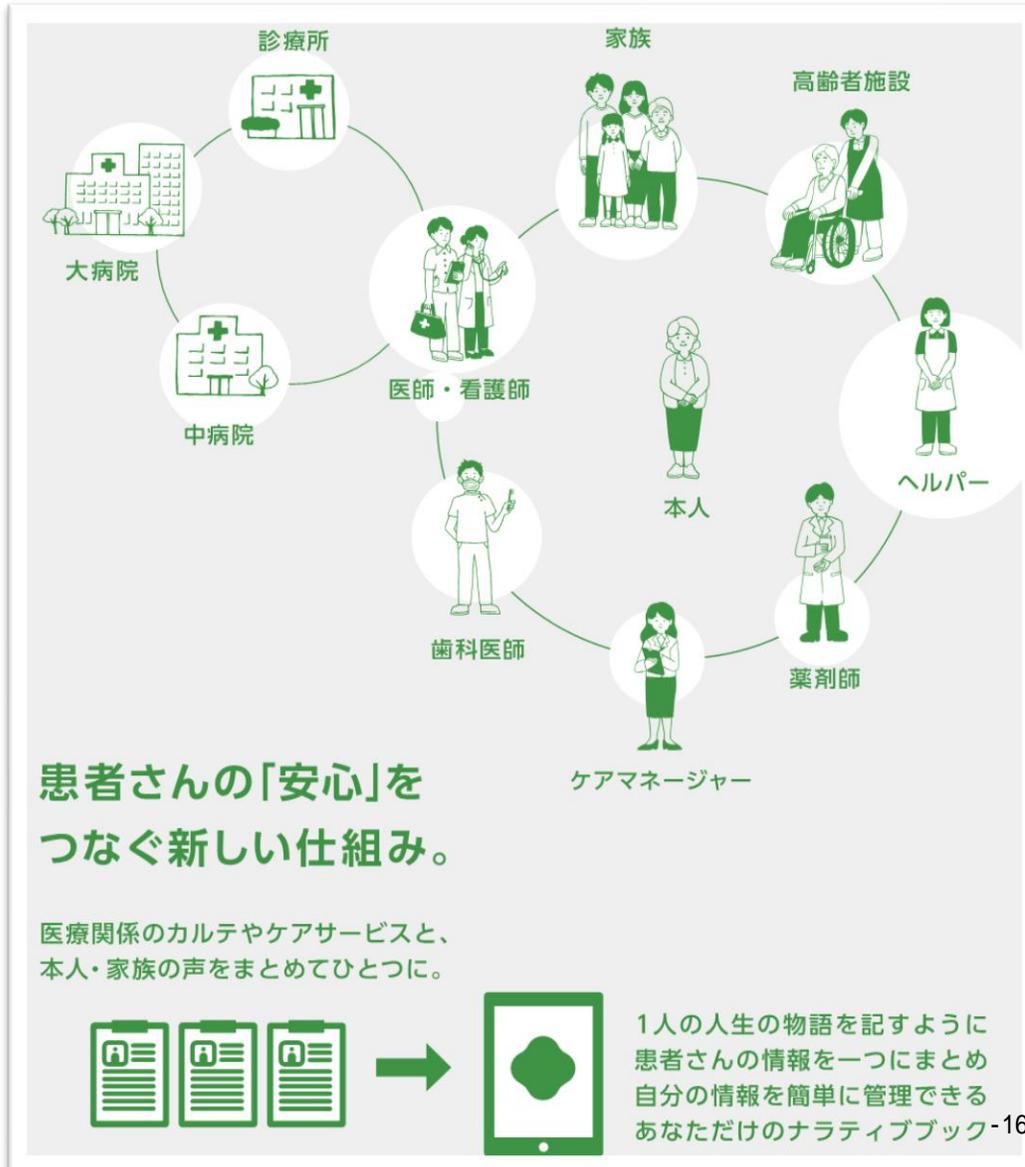
医療・福祉・介護従事者が、
NB秋田を活用出来るように育成する事

内容

- ・ NB趣旨・コンセプトの説明
- ・ NBシステムの利用説明



地域包括ケア支援システムにおける ナラティブブック秋田



地域包括ケアの実現には
地域に住まう方々が、
“自分らしい暮らし”を
継続していける環境が必要



患者の想いに寄り添い
患者・家族中心の
地域医療・介護連携のための
情報共有のプラットフォーム
を構築

『ナラティブブック秋田』の概略

医療福祉公共クラウド

医療・在宅・福祉連携ツール

一人の人間を軸に支える

情報は個人が必要な人へのみ認証開示する

PCやiPad又はiPhone（スマートフォン）などから入力可能

情報として

医療情報

お薬手帳内容

訪問看護記録

介護保険情報

個人史、人生観、死生観、

リビングウイル

ICTナラティブブック秋田で 情報共有の可能性を探る。

患者さんの家族も参加



生活や想いを共有する



医療・介護スタッフとも情報共有



～ 患者さんを中心とした情報共有 ～

関連職種から見た患者さんの画面

～ 患者さんの生活や想い

The screenshot shows the 'ナラティブブック' (Narrative Book) interface for a patient named Nakamura Goro (中村 代五郎さん), born July 6, 1935, male. The interface includes a header with the patient's name and birth information, and a main area with various sections:

- nudge**: A message from Tanimura Yoko (田村陽子) dated 2015/11/30, mentioning a visit to Dr. Akita (秋田先生) and medication.
- wish**: A section titled '中村代五郎からのお願い' (Request from Nakamura Goro) with a list of items:
 - やり残したこと (Things left undone)
 - 食べ残したこと (Things left uneaten)
 - 言い残したこと (Things left unsaid)
 - これからやりたいこと Make a wish (夢の実現) (Things to do from now)
 - 治療計画 (Treatment plan)
- info**: A section titled 'barrier-free' (バリアフリー) with a sub-section for '緊急連絡先' (Emergency contact).
- Assessment Sheet**: A section for 'アセスメントシート (ADLなど)' (Assessment sheet (ADL, etc.)).

緊急連絡先

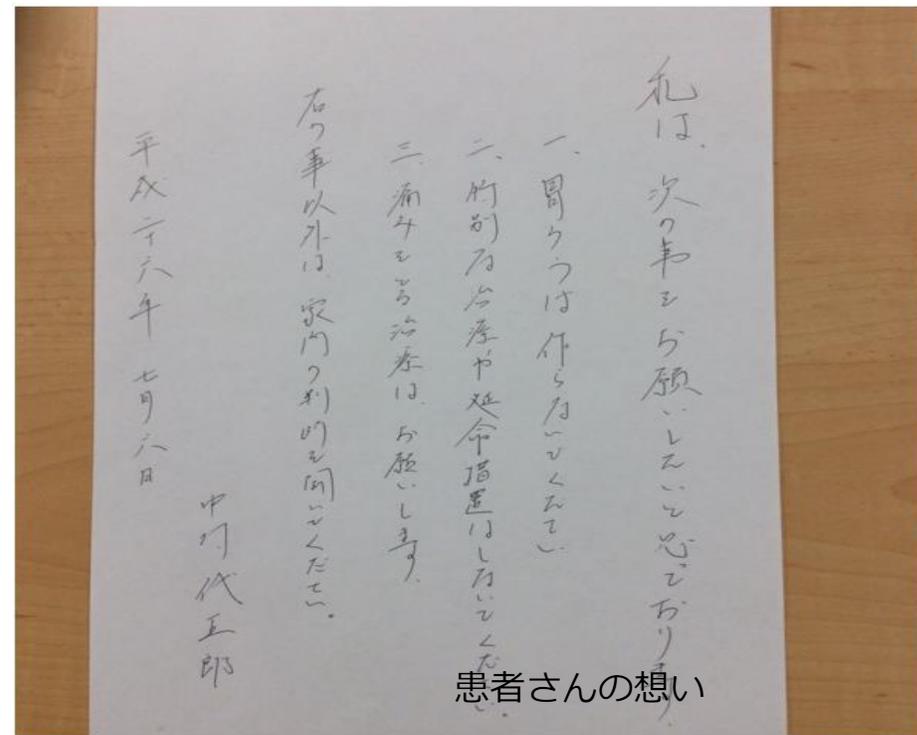
息子の代吉さん
東京で働いている
電話：080-0000-0000



info 緊急連絡先

必要な情報は
掲示板に
書いておけます。

お家の状況なども
情報共有できます。



患者さんの想い

患者さん自身でログインしたときの画面

～ 生活者の方を中心とした情報共有 ～

活用例 医療介護従事者から、患者さんを見る。

患者さんの家族も参加



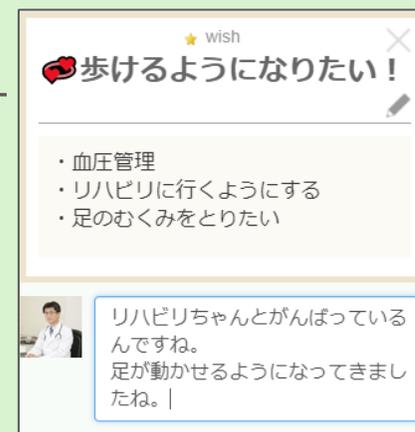
遠くにいたり、帰りが遅かったりして、なかなか連絡の取りにくい家族とも、日常の何気ない連絡を取ることが出来ます。



生活や想いを共有する



患者さんそれぞれに合った医療・介護のために、患者さんの想いや夢、希望、治療の目標について、みんなで書いていき目標を共有します。



～ 患者さんを中心とした情報共有 ～

想いや人生観など、
伝えたいことが
共有できます

遠方の家族にも
生活や医療の
情報が共有できます

私の“物語”を記録するナラティブブック

これまでの健康状況や
治療やお薬の
経過が見えます

自分の情報を管理
して、必要なときに
利用できます

ナラティブブックの評価

利点

- ・本人・ご家族を含め、多職種で情報共有ができる
- ・患者の想いや物語を確認できる
- ・家族の思いを確認（本人を前に言えない事も、相手を気にせずに自分の時間に振り返り入力することもできる）
- ・治療・ケアの方向性が一致する（目標がはっきりする）
- ・本人“らしさ”がみえる

課題

- ・通信環境の整備費用（負担はどこがするのか）
- ・ローカルシステムとの非連携（カルテ等との非連携）

今後の展望

- ・このシステムで「ACPを行える」環境を作る

※アプリ化・ビデオ通話（オンライン診療への活用）等の搭載

地域包括ケア支援システム「ナラティブブック秋田」が 「2018年度グッドデザイン・ベスト 100」を受賞

治す医療だけで良いだろうか? 支える医療の実現へ
ナラティブブック秋田 (患者さんの物語を綴る ICT 手帳)
ナラティブ=物語+語り ブック=まとめる

人生における医療の役割
 生 → 人生 → 死
 発病 ← 人生の最終段階 →

人は病気になるまで初めて自分の物語を語り始める

人生の最終段階、いのちの終わりに医療者たちはどうか関わることができるのか? それには、物語的なアプローチとして病を認識し、解釈し、それに心動かされて行動することが大切である。人生の最終段階について、医療や介護で決められる社会は複雑である。実病がんや慢性腎臓病などがピックアップされやすいが、実はそれは生活の延長の中で語られるべきである。(原は点ではない、流れも痛もあるものである)

患者さんの幸福を実現させる三つの力
 ① 物語能力 ② 患者を中心に考える努力 ③ 多職種による協力 (連携)

ナラティブブック秋田とは

① 目的や価値観: 患者本人の生活・治療を支える「本人の思いを伝える ICT ツール」
 ② 本人のデータは本人が持つ (本人主体の健康情報中心の「デジタルヘルス」)
 ③ 生活とケアの連携の促進

・本人や家族が参加出来る、情報の活用
 ・本人の思いや生活・治療の情報を伝える
 ・本人の思いや生活・治療の情報を伝える
 ・本人の思いや生活・治療の情報を伝える

④ 効果や価値: ① ICT、② 本人、③ 家族、④ 医療、⑤ 介護、⑥ 介護者、⑦ 介護施設、⑧ 介護サービス、⑨ 介護用品、⑩ 介護保険、⑪ 介護報酬、⑫ 介護費、⑬ 介護サービス、⑭ 介護サービス、⑮ 介護サービス、⑯ 介護サービス、⑰ 介護サービス、⑱ 介護サービス、⑲ 介護サービス、⑳ 介護サービス、㉑ 介護サービス、㉒ 介護サービス、㉓ 介護サービス、㉔ 介護サービス、㉕ 介護サービス、㉖ 介護サービス、㉗ 介護サービス、㉘ 介護サービス、㉙ 介護サービス、㉚ 介護サービス、㉛ 介護サービス、㉜ 介護サービス、㉝ 介護サービス、㉞ 介護サービス、㉟ 介護サービス、㊱ 介護サービス、㊲ 介護サービス、㊳ 介護サービス、㊴ 介護サービス、㊵ 介護サービス、㊶ 介護サービス、㊷ 介護サービス、㊸ 介護サービス、㊹ 介護サービス、㊺ 介護サービス、㊻ 介護サービス、㊼ 介護サービス、㊽ 介護サービス、㊾ 介護サービス、㊿ 介護サービス

① ナラティブブック利用状況 (平成28年9月～平成30年3月)

② 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

③ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

④ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑤ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑥ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑦ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑧ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑨ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑩ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑪ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑫ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑬ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑭ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑮ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑯ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑰ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑱ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑲ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

⑳ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉑ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉒ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉓ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉔ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉕ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉖ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉗ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉘ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉙ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉚ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉛ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉜ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉝ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉞ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㉟ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊱ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊲ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊳ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊴ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊵ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊶ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊷ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊸ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊹ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊺ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

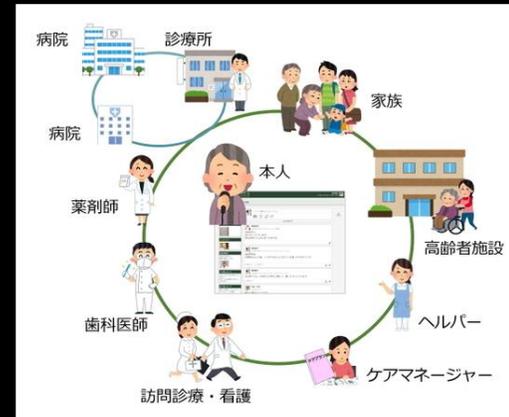
㊻ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊼ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊽ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊾ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)

㊿ 介護付有料老人ホームの増加 (平成28年9月～平成30年3月)



グッドデザイン賞審査委員による評価コメント:

「ナラティブブック秋田」は、単に効率化を図ることを目的とせず、患者の思いを中心に置くことを主眼として今後の我が国の医療介護のあり方を問う狙いを実現している点を高く評価した。

亡くなるまでの患者との対話を書籍にすることをを行うなど、医療従事者が患者一人ひとりを「尊厳ある人間」として向き合う姿勢が鮮明であり、

このプロジェクトが日本の終末医療のあり方、地域医療のあり方に投げかける問題は実に大きい。

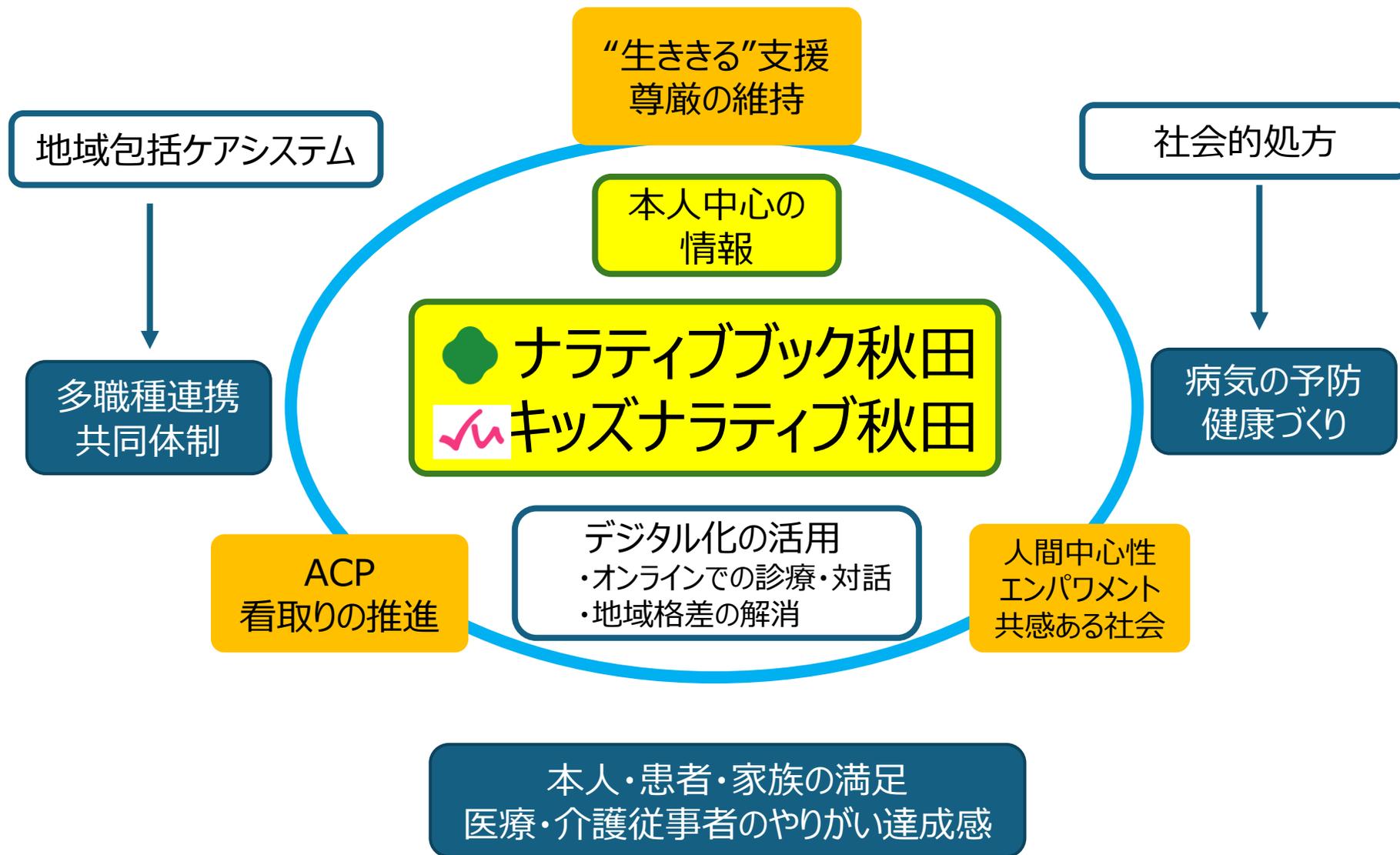
『ナラティブブック秋田』運用サイトと登録者数（2024. 11.30申込迄）

| 支部名 | 施設側 | | | かかりつけ患者数 | | 患者1名に紐づく家族数（数） | | | | | | | |
|--|-------------|--------------|--------------|------------------------------|--------------------------|----------------|-----|----|----|---|------|-----|---|
| | 施設登録 （数） | 職員累積 （人数） | 職員頭数 （人数） | 累積数 （人数） _{1, 2)} | 頭数 （人数） ₁₎ | 0 家族無 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5-10 | 10- | |
| ナ ラ テ ィ ブ ブ ッ ク 秋 田 | 全体(ユニーク) | 419 | 760 | 721 | 1077 | 477 | 398 | 49 | 19 | 3 | 2 | 5 | 1 |
| | (カッコ)内は、先月数 | (419) | (761) | (722) | (1069) | (474) | | | | | | | |
| | 能代山本 | 59 | 119 | 118 | 166 | 68 | 55 | 5 | 6 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 男鹿潟上南秋 | 13 | 19 | 19 | 7 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 由利本荘 | 102 | 210 | 197 | 560 | 264 | 226 | 24 | 8 | 1 | 1 | 3 | 1 |
| | 横手 | 39 | 54 | 54 | 64 | 33 | 23 | 7 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 湯沢雄勝 | 25 | 44 | 44 | 42 | 22 | 15 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | 大館北秋田 | 31 | 45 | 40 | 35 | 19 | 17 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 大曲仙北 | 57 | 65 | 63 | 12 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 秋田 | 87 | 182 | 181 | 164 | 83 | 68 | 9 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 鹿角 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | キッズナラティブ秋田 | 54 | 187 | 172 | 262 | 154 | 139 | 9 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 |

施設区分別

| 支部名 | 病院 | 診療所 | 歯科診療所 | 薬局 | 看護 | 福祉・介護 | 公共機関 | その他 |
|------------|----|-----|-------|----|----|-------|------|-----|
| 能代山本 | 2 | 9 | 1 | 13 | 5 | 25 | 2 | 2 |
| 男鹿潟上南秋 | 2 | 3 | 0 | 4 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 由利本荘 | 7 | 14 | 2 | 22 | 5 | 44 | 6 | 2 |
| 横手 | 0 | 11 | 1 | 10 | 1 | 15 | 1 | 0 |
| 湯沢雄勝 | 0 | 4 | 4 | 5 | 1 | 11 | 0 | 0 |
| 大館北秋田 | 3 | 7 | 0 | 11 | 3 | 6 | 1 | 0 |
| 大曲仙北 | 1 | 16 | 3 | 2 | 4 | 30 | 1 | 0 |
| 秋田 | 6 | 15 | 13 | 23 | 6 | 20 | 0 | 2 |
| 鹿角 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| キッズナラティブ秋田 | 8 | 5 | 1 | 15 | 6 | 14 | 3 | 2 |

- 1) 患者の家族登録数は含めない
2) 各施設に登録された患者数の合計
※ 由利本荘支部は、2015.10～
※ 能代山本・横手支部は、2019.1～
※ 男鹿潟上南秋・湯沢雄勝支部は、2020.4～
※ 秋田市、大館北秋田・鹿角、大曲仙北は、
2022.4～
※ 郡市医師会単位で施設を再配置2022.11.1～
※ キッズナラティブ秋田施設は、郡市医師会単位集
計にも含む
※ 秋田県医師会（施設登録）は、いずれの支部に
も所属しない



まとめ

- ナラティブブックを利用した本人や家族からは、自分たちが見守られていることを実感でき、不安が軽減され、安心できたとのコメントが多かった。
- 多職種からは、チーム全体への連絡の手間が大きく削減でき、患者や家族の想いを共有でき、コミュニケーションがとりやすくなった等と評価が高かった。
- 本取組の特徴は、患者の情報の一元化、本人の想いや物語を聴く本人主体の情報共有、意思決定支援にも資することである。
- 課題は運営コストと通信環境の整備費用（負担はどこがするのか）ローカルシステム（カルテ等）との連携をどうするかである。
- 本取り組みのような本人（患者）主体の医療・ケア体制が全国に広がることを心から願っている。

思い (重い) を理解する支援者へ ナラティブブック秋田



ご清聴ありがとうございました

講師略歴

伊藤 伸一 (いとう しんいち)

一般社団法人秋田県医師会副会長
伊藤医院院長

◆経歴

1982年3月 東京医科大学 卒業
1982年6月 東京医科大学外科学教室
1986年10月 静岡県立こども病院新生児・小児科外科医員
1989年5月 東京医科大学外科助手
1994年5月 米国 UCLA medical center に肝移植と小児外科研修のため留学
1997年11月 東京医科大学外科講師
2000年1月 伊藤医院 院長
現在に至る

◆学会資格

日本東洋医学会専門医
日本小児外科学会名誉指導医
日本医師会認定産業医

◆医師会役職

2005年3月 由利本荘医師会理事
2016年6月 由利本荘医師会副会長
2020年6月 由利本荘医師会参与
2008年5月 秋田県医師会理事
2012年6月 秋田県医師会常任理事
2018年6月 秋田県医師会副会長(現職)

◆その他役職及び委員

日本医師会代議員
日本医師会地域包括ケア推進委員会
東北医師会連合会理事
秋田県健康づくり審議会、同 がん対策分科会、同 健康秋田21計画企画評価分科会
秋田県医療介護総合確保事業計画策定委員会
地域医療構想アドバイザー
秋田県へき地医療対策協議会
秋田県へき地医療支援計画策定委員
秋田県医療審議会
秋田県医療審議会計画部会
秋田県医療デジタル化推進協議会
秋田県循環器病対策推進協議会
過疎地域における介護・福祉と連携した一次医療提供体制の検討会
「秋田県医療保健福祉計画」策定に係る各分野における在宅医療連携体制等検討会
秋田県地域医療対策協議会 医師配置計画部会
秋田県臨床研修協議会
秋田県医療法人部会
秋田県公衆衛生学会世話人
秋田県地方独立行政法人評価委員会
秋田県総合保健事業団評議員

秋田大学附属病院医療安全監査委員会
秋田大学臨床研究審査会
秋田大学研究倫理審査会
秋田県産保センター運営主幹
由利本荘・にかほ「医療と介護と在宅をつなぐ会」世話人代表
みんくるカフェ Akita 代表
特定非営利活動法人 あゆみの会副代表

◆賞罰

平成 28 年環境・保健事業功労者 知事表彰
平成 29 年秋田県医師会功労者表彰
令和 5 年度公衆衛生事業功労者の厚生労働大臣表彰

地域医療を守り抜くためのDXの活用

集会所/診療所を活用したD to P with N

岐阜県：県北西部地域医療センター国保白鳥病院長
廣瀬 英生

県北西部地域医療センターは、郡上市、白川村、高山市からな地域医療機能推進法人であり、広大なエリアの診療をカバーしている。オンライン診療は、人口過疎地への医療提供、医師をはじめ利用スタッフの移動の負担を減らすなどの効果が期待されている。当センターでは、2023年10月より、岐阜県の事業の一環で、モデル事業① 医師が診察を行わない時に診療所に看護師および事務員が赴きオンライン診療行うモデル(Dr to Pt with Ns)、モデル事業② 医療機関不在地域における地域集会所(阿多岐(あたぎ)地区)を利用したDr to Pt with Ns モデル③訪問看護時に異変、医師の診察が必要な際に、病院にいる医師に連絡してオンライン診療を開始した

それぞれのオンライン診療を行った背景としては、モデル①小那比地区は、当院より車で40分の距離があり、数名の患者の診察のために医師を半日拘束するという状態であったこと。モデル②阿多岐地区は、当院の診療圏ではあるが、通院経路に峠があり、患者にとって通院は難しい場所であったこと。モデル③は、訪問看護が市内でカバーしている範囲が広く、すぐに医師に対応できる必要があったことである

オンライン利用者、かかわったスタッフ(看護師、医師、医事担当事務、オンライン担当事務)に対して、受付、診療全体のスムーズさをアンケート調査した。結果としては、患者さんにとっては、意外にオンラインで話すことに違和感はない印象であった。医師は、移動する時間がない分、病棟業務、透析業務、内視鏡検査など他の業務にあてることができ、医師の働き方の効率化がはかれる可能性があった。一方、課題として挙げられたこととして、処方箋発行、会計処理が集会所だと煩雑であること、薬剤の配達があげられた。

オンライン診療は、今後地域医療の課題を解決していくうえで一つの方策であると考えられる。今後の展望としては、他の診療所、集会所(地区)に関しても対面診療からオンライン診療の切り替えを検討、移動診療車の利用を検討し、より効率の良い方法を考えていきたい

令和6年度地域包括医療・ケア研修会
地域医療を守り抜くためのDXの活用

集会所/診療所を活用したD to P with N
(Doctor to Patients with Nurse)

県北西部地域医療センター-国保白鳥病院
廣瀬英生



県北西部地域医療センターとは？

岐阜県全体



平成27年4月から、国保白鳥病院と郡上市地域医療センター、白川村の2診療所、高山市庄川診療所を合体して県北西部地域医療センターとなった。

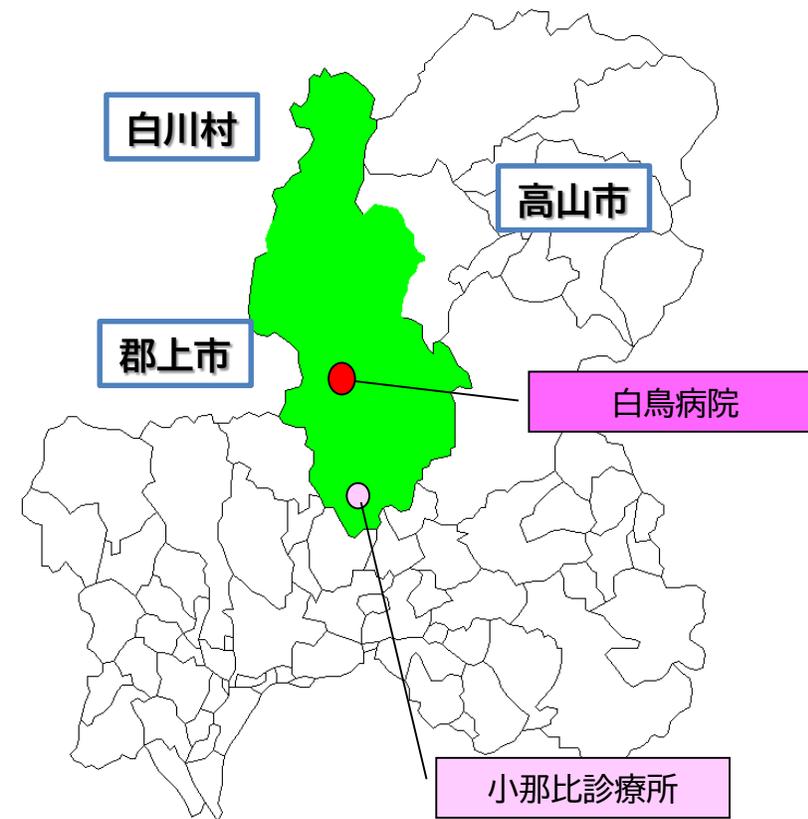
令和2年から地域医療連携推進法人となった



県北西部
地域医療センター
Center for Community Medicine in North-Western Gifu Prefecture

モデル① へき地診療所を利用した D to P with N

- 小那比診療所(白鳥病院から29km/40分)
 - 人口 150人程度
 - 火曜日隔週、金曜日毎週(3-4人/回)
 - 火曜日の隔週に診察をしていない日を利用



モデル② 集会所を利用した D to P with N

- 阿多岐(あたぎ)集会所(国保白鳥病院から5km/12分)
(郡上市白鳥町内の1地区、峠がある)
- 白鳥病院に通院中の患者 22名を対象
- 月2回使用、オンライン利用者 1回あたり3-4名



モデル③ 訪問看護を利用した D to P with N

- 訪問看護対象者 40名に事前に同意書を取得し
- 訪問看護時に異変、医師の診察が必要な際に、病院にいる医師に連絡してオンライン診療を行う



訪問看護対象者に事前に同意



急変時に対応



対象者アンケート（モデル①と②に関して）

対象

- オンライン診療利用者
- 関わったスタッフ

目的

- 携わったスタッフ、利用者の思いを聞くこと
- オンライン診療の課題、対応を抽出すること

調査内容（自記式アンケート調査）

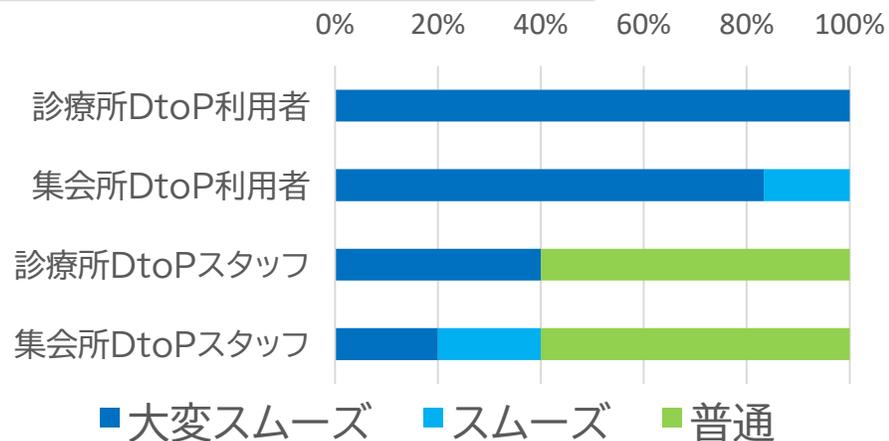
- 受付はスムーズでしたか？
- オンライン診療の違和感
- 処方箋発行はスムーズでしたか
- オンライン診療を経験しての良かったこと
- オンライン診療を経験しての困ったこと
- オンライン診療に期待すること

会議などを通してスタッフから課題を抽出

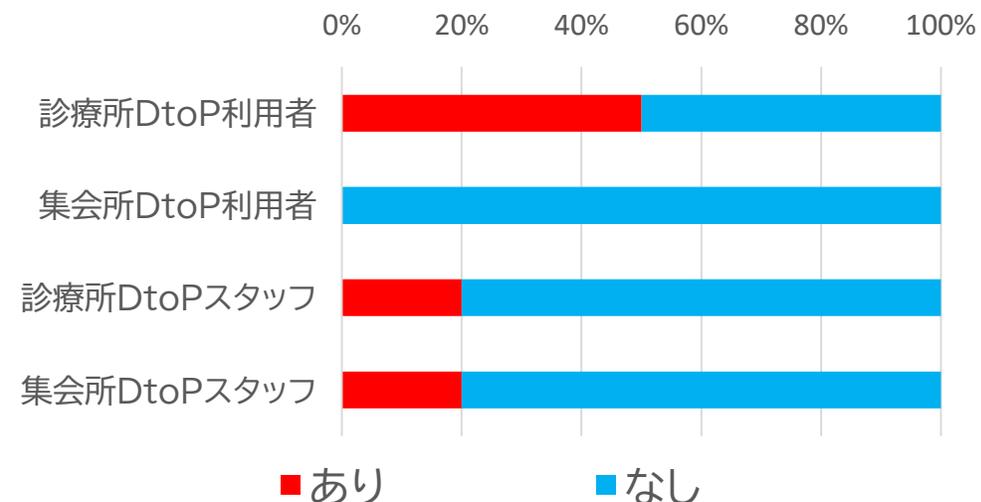


アンケート結果

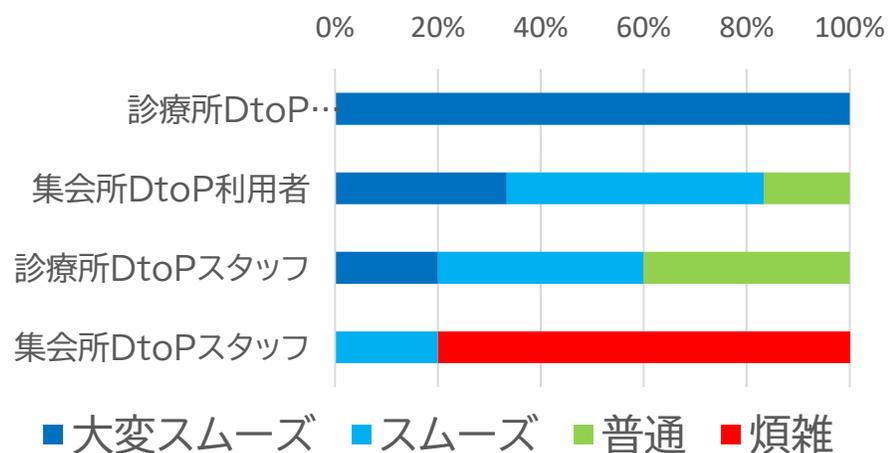
Q.受付はスムーズでしたか？



Q.オンライン診療そのものに違和感はありましたか？



Q.処方箋の発行はスムーズでしたか？



アンケート結果②

モデル① 診療所を利用したD to P with N

- 聞き取りづらいことはあったが看護師が分かりやすく伝えてくれた
- いつもの診療と変わらない
- 待ち時間がなくスムーズでよいです
- 時間予約制なので診察がスムーズです。火曜日が毎週になってよかった
- 医師の顔が大きく見えてよい
- 病院に行くと待ち時間が長い、ここは楽
- いつもより話がしやすかった
- 近くでしてもらえていいと思う
- 診療場所に近くて大変便利です。待ち時間がいない

モデル② 集会所を利用したD to P with N

- 現状を維持してほしい
- 先生に聞きやすいのでよい
- 家でできたら助かると思いました
- 冬場の時期は雪の心配があるのでやっていただけるとありがたい
- 現状を維持してほしい



モデル① へき地診療所を利用したD to P with N 課題と対応

課題1

予約外患者の来院 3名が来院した

【理由】①薬がなくなった(2名)②背中がかゆいので薬が欲しい

【対応】担当診察医師と相談したうえで

①は定期的に小那比診療所通院されていたので、来院当日オンライン診療同意書にサインをいただき診察

②は定期受診されていなかったものでオンライン診療はお断りして対面受診を勧めた→その後確認で「診療前相談」で可能であれば、オンライン診療継続可能であった

課題2

オンライン診療でインフルエンザの予防接種ができないか

→副反応が現れる可能性があるので予防接種は対面診療の時に行うこととした



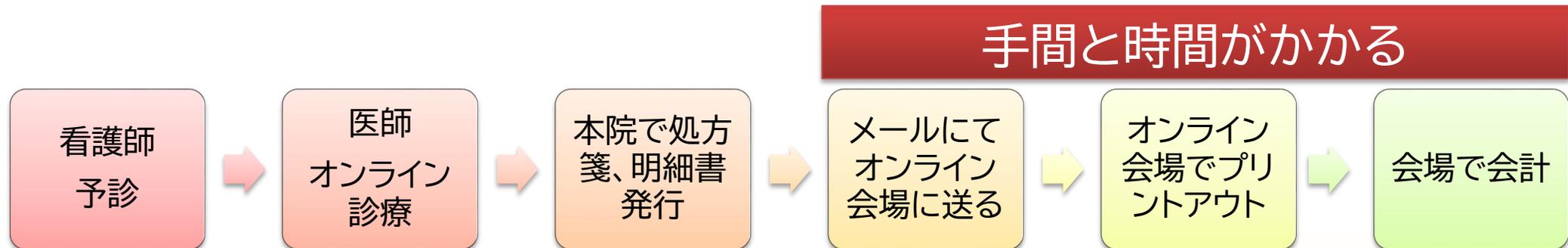
モデル② 集会所を利用したD to P with N 課題と対応

課題1 薬の配達について

近隣の薬局に確認したところA薬局のみ配達可能
オンライン診療患者に説明したところ配達希望者はなかった
(6名のうち5名は配達サービスがないB薬局利用)

課題2 処方箋・会計手続きに時間がかかった

白鳥病院事務職員が処理に慣れるまで時間がかかった
オンライン処方箋・会計に対応できる職員の数を増やした
20分くらいかかっていたが10分くらいで処理が可能になった



モデル③訪問看護を利用したD to P with N 課題と対応

課題1 当番医への周知の不徹底

- お互い不慣れなため診療までに15分以上かかった
- オンライン診療について医師内で周知できていなかった

(対応)

マニュアルを整備していただき看護師も周知、すぐに知っている医師に聞くようにした

課題2 通信トラブル

- 家の場所によっては、通信環境が不安定な状態があった



まとめ

- 患者さんにとっては、意外にオンラインで話すことに違和感はない印象であった
- 医師は、移動する時間がない分、他の業務にあてることができ、医師の働き方の効率化がはかれる可能性
- 処方箋発行、会計処理が集会所だと煩雑
- 地域によっては通信状態に影響する
- 薬剤の配達も行えると良い



講師略歴

廣瀬 英生（ひろせ ひでお）

岐阜県：県北西部地域医療センター国保白鳥病院長

◆経歴

2001年3月 自治医科大学 卒業
2001年4月 岐阜県立多治見病院 研修
2003年4月 下呂市立小坂診療所
2005年4月 岐阜県立下呂温泉病院
2006年4月 高山市国民健康保険久々野診療所
2007年4月 郡上市国保和良病院（現 県北西部地域医療センター国保和良診療所）
2020年4月 県北西部地域医療センター国保白鳥病院副院長 兼 副センター長 兼 小那比診療所長
2024年4月 県北西部地域医療センター国保白鳥病院長

現在に至る

◆賞罰

2018年 第5回やぶ医者大賞

◆著書・論文

クリニカルクエスト 南山堂 責任編集

◆所属学会

日本内科学会

日本プライマリケア連合学会

日本地域医療学会

自治医科大学臨床教授

全国国民健康保険診療施設協議会 理事

郡上市医師会 理事

地域医療を守り抜くための DX の活用

特定医療法人谷田会 谷田病院事務部長

藤井 将志

システムを導入しても院内の効率化・DX 化は図れないことに気づき、自動化の仕組みやデータの利活用によって、院内の業務改善をすすめています。きっかけは、情報システムのメンバーが発表した院内勉強会です。そこで、プログラミングの基礎を教えてくださいました。しかし、参考になったのはプログラミングそのものではなく、パソコンでプログラムを動かすこと、データベースからデータを抽出したり、入力したり、といった内容です。その知識があれば、ChatGPT などを活用して、様々なプログラムを実行することができます。今では、プログラミング初心者がコードを作って、実際にやっている業務を効率化することができるようになってきました。また、電子カルテ等のデータベースを有効活用する取り組みも進めています。カルテを一々開くことなく、検査値や喫食状況などをリストしたり、患者数等を抽出したり、院外から Google カレンダーで院内スケジュールが見れるようにしたりと、有効活用しています。一つ一つは小粒な取り組みですが、それをしていかないと、システムを導入したところで効率化が図れないということが分かりました。より、大掛かりな DX になると、小規模な病院の人員だけでは実現できないので、外部の企業とコラボレーションすることも始めています。電子カルテのデータベースにセキュアに生成 AI を接続して、退院サマリ、看護サマリ、リハサマリ、主治医意見書、診療情報提供を作成できるようになりました。今後は、患者さんのライフログを AI カメラで記録したり、バイタルを Bluetooth で自動入力する、といったことも他社との連携で模索しています。こうした取り組みを見学に来ていただいたり、話を聞きたいと希望していただける医療機関も多いですが、実際に人材がいなくてできない、という声も多々聞かれます。そこで始めたのが、人材育成プログラムです。システムがある程度分かる人向けには、電子カルテのデータベースからデータを利活用するプログラムが作成できることを目標にしています。また、そこまでは不要で、日々の業務の効率化程度でしたら、個々のパソコンでできる効率化を、その人の環境に合わせて実施していく研修プログラムも始めました。今後、DX の取り組みなしに、医療機関の運営は考えられず、今後、ますます変化していく分野だと考えています。

地域医療を守り抜くための**DX**の活用

医療法人谷田会 谷田病院
事務部長 藤井将志
fujii@yatsuda-kai.jp

医療マネジメント職の育成の柱

医事課
3～5年

総務課
3～5年

次の
ステップへ

※ 最短 6 年～最長 10 年

【医事課】

- 受付
- 外来請求
- 病棟請求
- 介護請求
- 届出
- 査定返戻
- 未収金

【総務課】

- 庶務経理
資金の流れ、人材の流れ、理事会
の流れ、補助金
- IT広報・リクルート
システム概要、システム導入・保
守管理、Webサイト、広報活動、
就職相談会、学校訪問、学生対応
- 総務
建替・施設修繕、機器購入交渉、
物品管理、送迎救急、災害対応

【マネジメント研修】

- 月半日：Off-JT
ロールプレイ、働き方研修
- 採用後 1 カ月OJT
- いつでも：事務長OJT
業者交渉、銀行対応、理事会、
医局対応 など

【医療支援】

- 各種会議の議事録ローテ



```
matumura.pl
ファイル 編集 表示

$matumura[0]=7;
$matumura[1]=8;
$matumura[2]=9;
$matumura[3]=1;

$suzu="やまぐち";

$aaa="すず";

$tosi="歳";

for $i ( @matumura ) {
    $cnt = $cnt + $i;
}

printf("%s %s %s %s\n", $suzu, $aaa, $cnt, $tosi );
```

```
C:\WINDOWS\system32\cmd
Microsoft Windows [Version 10.0.22621.1702]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\melod>cd OneDrive\デスクトップ\test

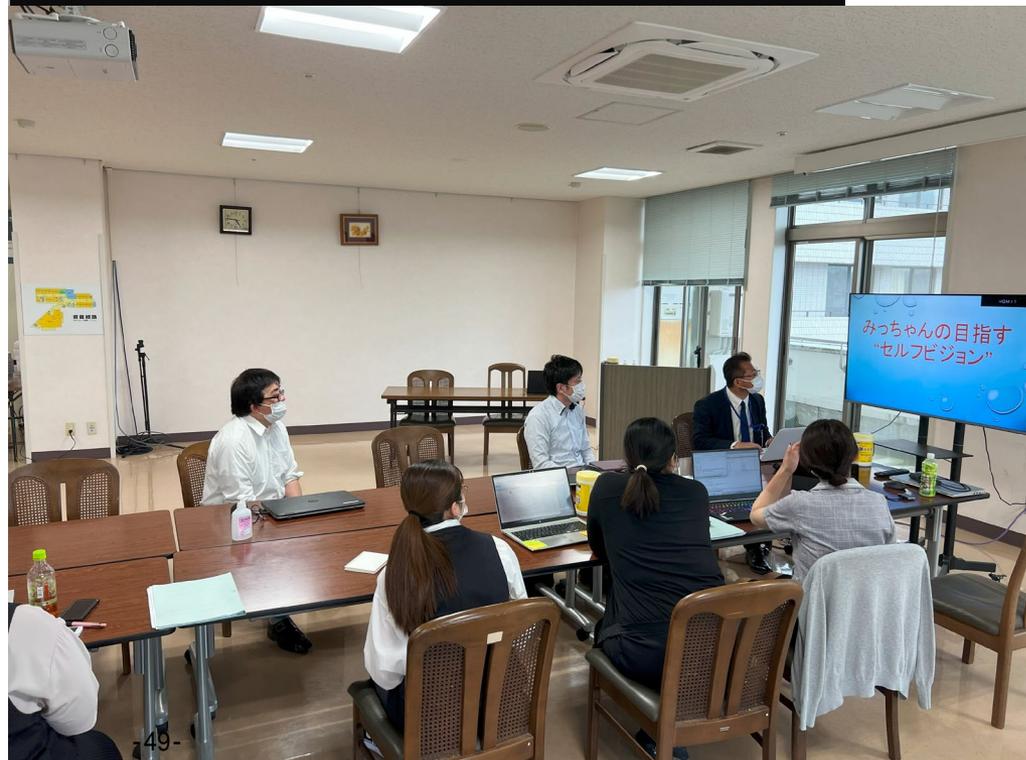
C:\Users\melod\OneDrive\デスクトップ\test>perl -f matumu
やまぐち すず 25 歳

C:\Users\melod\OneDrive\デスクトップ\test>
```



X-DAY

衝撃だった！
2023年5月のOffJT



Windows File Explorer window showing the 'Downloads' folder. The left sidebar shows the navigation pane with 'Downloads' selected. The main pane shows a list of files and folders:

| 名前 | 更新日時 | 種類 | サイズ |
|------------------|-----------------|-----------------------|--------|
| scan | 2023/05/26 6:50 | ファイル フォルダ | |
| 1935_001 (1).pdf | 2023/05/26 7:24 | Adobe Acrobat Docu... | 652 KB |
| 2162_001.pdf | 2023/05/26 7:24 | Adobe Acrobat Docu... | 85 KB |
| 2208_001.pdf | 2023/05/26 7:23 | Adobe Acrobat Docu... | 54 KB |

Windows File Explorer window showing the 'Downloads > scan' folder. The left sidebar shows the navigation pane with 'Downloads' selected. The main pane shows a list of files and folders:

| 名前 | 更新日時 | 種類 | サイズ |
|------------------|-----------------|-----------------------|--------|
| 1935_001 (1).pdf | 2023/05/26 7:24 | Adobe Acrobat Docu... | 652 KB |
| 2162_001.pdf | 2023/05/26 7:24 | Adobe Acrobat Docu... | 85 KB |
| 2208_001.pdf | 2023/05/26 7:23 | Adobe Acrobat Docu... | 54 KB |
| pdf_rename.py | 2023/05/26 6:50 | Python.File | 2 KB |
| go.vbs | 2023/05/26 0:08 | VBScript Script ファイル | 1 KB |

Windows File Explorer window showing the 'Downloads > scan' folder. The left sidebar shows the navigation pane with 'Downloads' selected. The main pane shows a list of files and folders:

| 名前 | 更新日時 | 種類 | サイズ |
|-------------------------------|-----------------|-----------------------|--------|
| 2023704719_15_13_____病院機能評... | 2023/05/26 7:24 | Adobe Acrobat Docu... | 652 KB |
| 術一3_届出がありましたので供覧_します。_設届... | 2023/05/26 7:24 | Adobe Acrobat Docu... | 85 KB |
| 認知症ケアサポートチーム_議事録_開催日時_... | 2023/05/26 7:23 | Adobe Acrobat Docu... | 54 KB |
| pdf_rename.py | 2023/05/26 6:50 | Python.File | 2 KB |
| go.vbs | 2023/05/26 0:08 | VBScript Script ファイル | 1 KB |



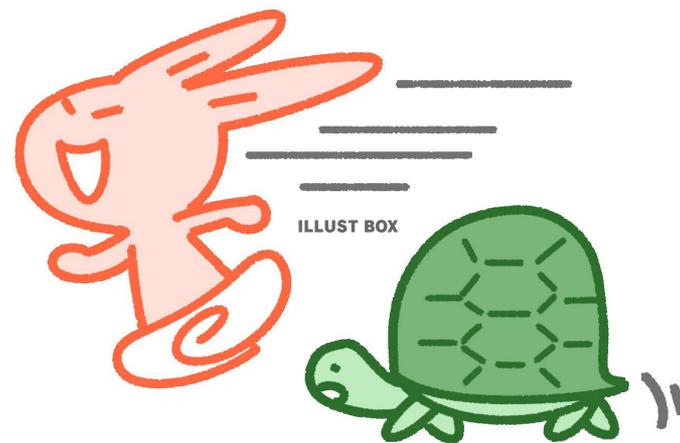
Access

データベースファイル

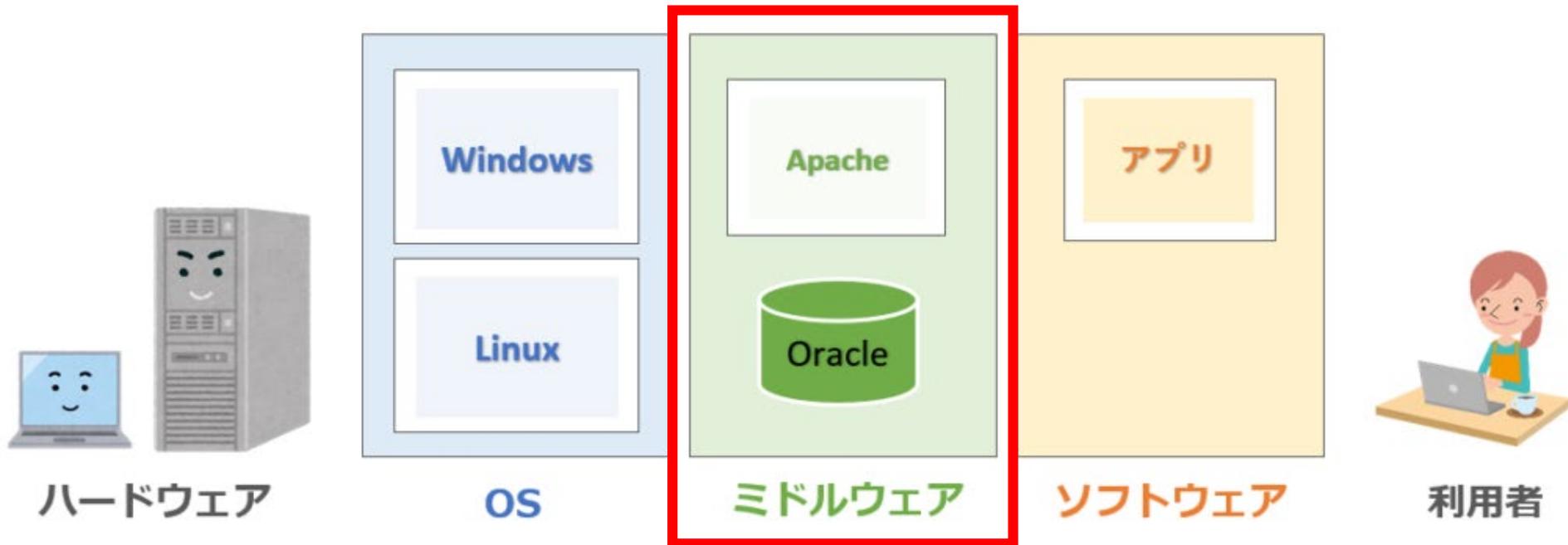
| 受注No. | 売上日 | 営業ID | 得意先ID | 商品 |
|-------|------------|------|-------------|--------|
| 1 | 2014/02/21 | 磯辺友則 | 株式会社アクセス | ノートPC |
| 2 | 2014/02/21 | 上田恵子 | 株式会社でっかい堂 | デスクッ |
| 3 | 2014/02/25 | 赤池雄二 | はひふへ舗株式会社 | ウルトラフ |
| 4 | 2014/02/25 | 岡本俊之 | 株式会社グリーン | ノートPC |
| 5 | 2014/02/25 | 遠藤歩美 | ベストプライス株式会社 | MP3プレー |
| 6 | 2014/02/28 | 磯辺友則 | 株式会社アクセス | デスクッ |
| 7 | 2014/02/28 | 上田恵子 | 株式会社でっかい堂 | デスクッ |
| 8 | 2014/03/03 | 磯辺友則 | 株式会社アクセス | タブレット |
| 9 | 2014/03/04 | 遠藤歩美 | ベストプライス株式会社 | MP3プレー |
| 10 | 2014/03/04 | 赤池雄二 | はひふへ舗株式会社 | ノートPC |
| 11 | 2014/03/06 | 岡本俊之 | 株式会社グリーン | ノートPC |
| 12 | 2014/03/06 | 磯辺友則 | 株式会社アクセス | タブレット |



| ファイル名 | 内容 | 項目例 |
|------------|------------|--------------|
| 様式1 | 簡易版カルテ | 性別、郵便番号、病名 |
| 様式3 | 施設情報 | 入院料、加算、病棟コード |
| 様式4 | 保険診療以外の診療 | 自費、併用 |
| EF統合ファイル | 出来高レセプト | 診療行為、実施日 |
| 外来EF統合ファイル | 外来の出来高レセプト | 診療行為、実施日 |
| Dファイル | DPCレセプト | 診療行為、実施日 |
| Hファイル | 日毎の患者情報 | 重症度・看護医療必要度 |
| Kファイル | レセプトとの連結用 | 共通ID |



勉強会で知ったこと



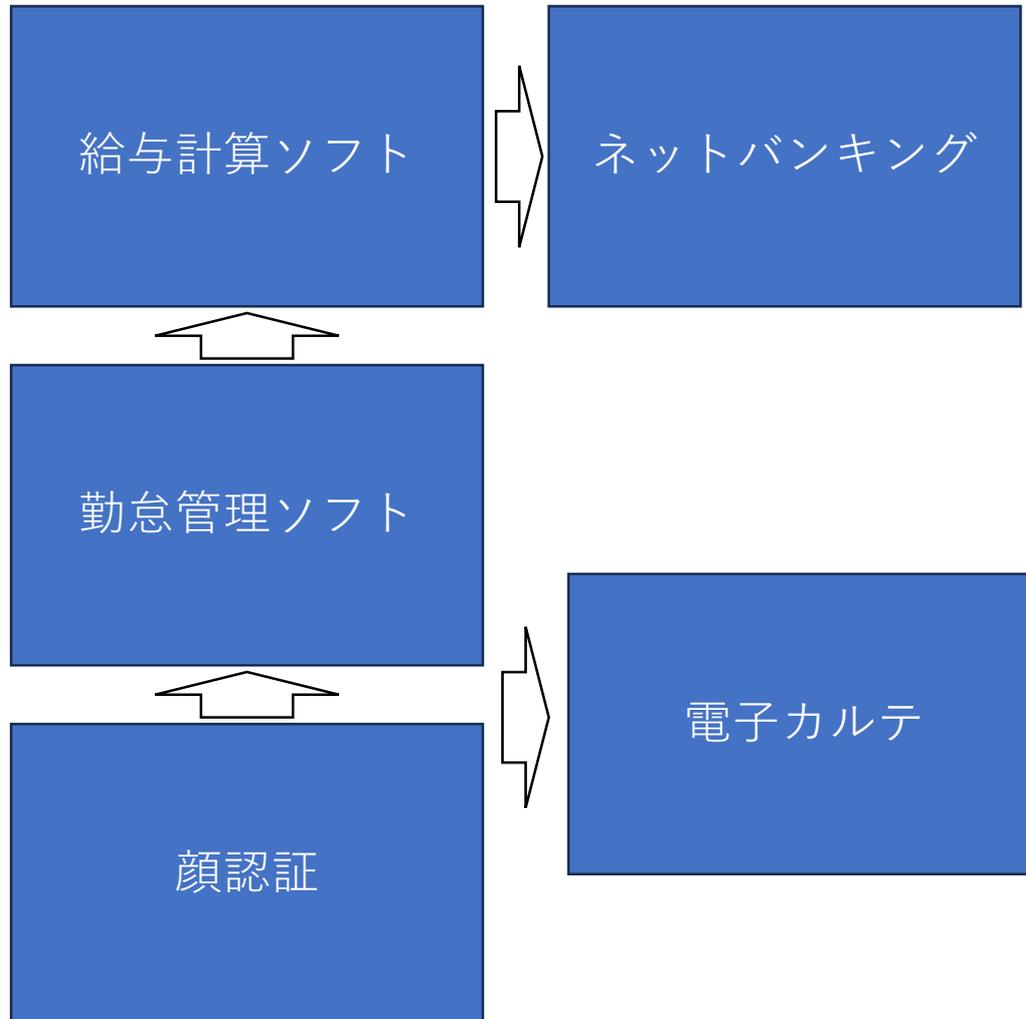
全てはデータベースとのやりとり

- ① データを入力する
- ② データを出力する

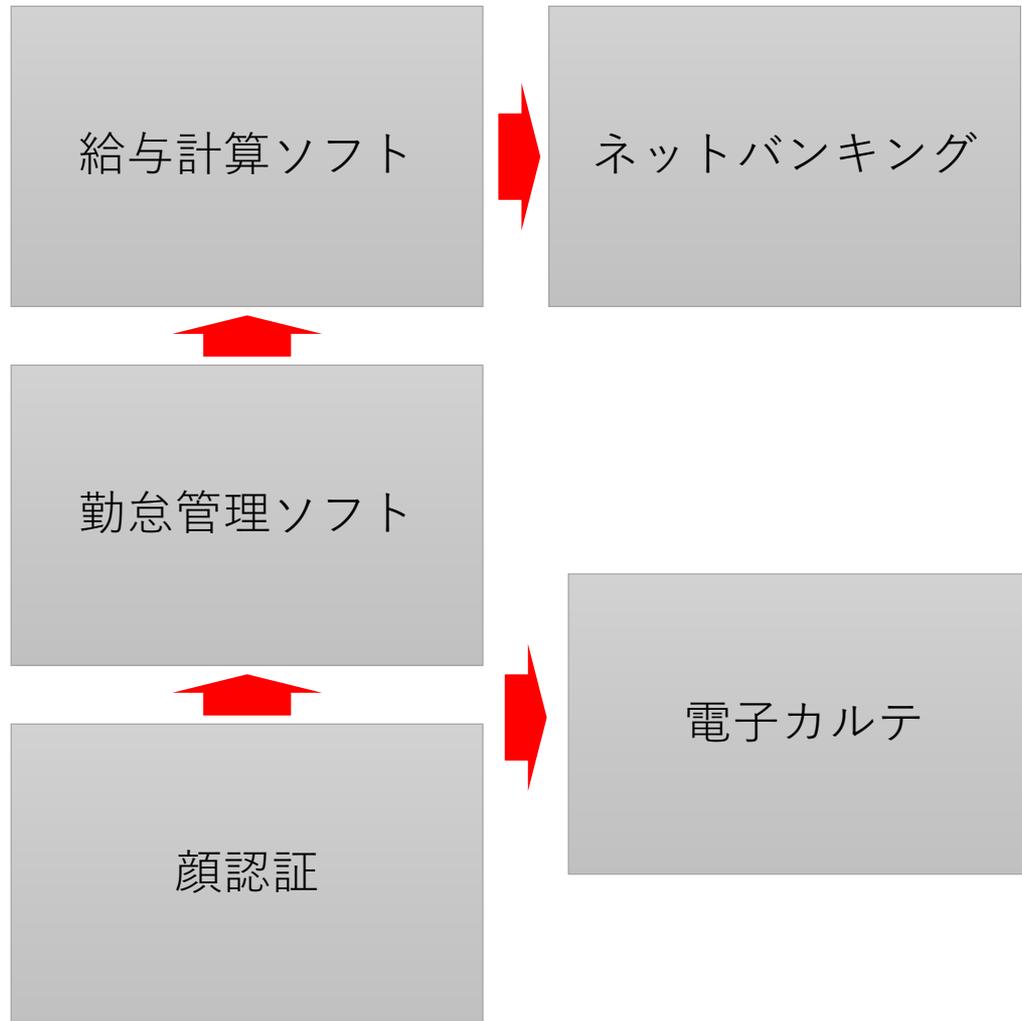
頭脳と手足



DXはソフトウェアの新規導入のことじゃない



DXはソフトウェアの新規導入のことじゃない

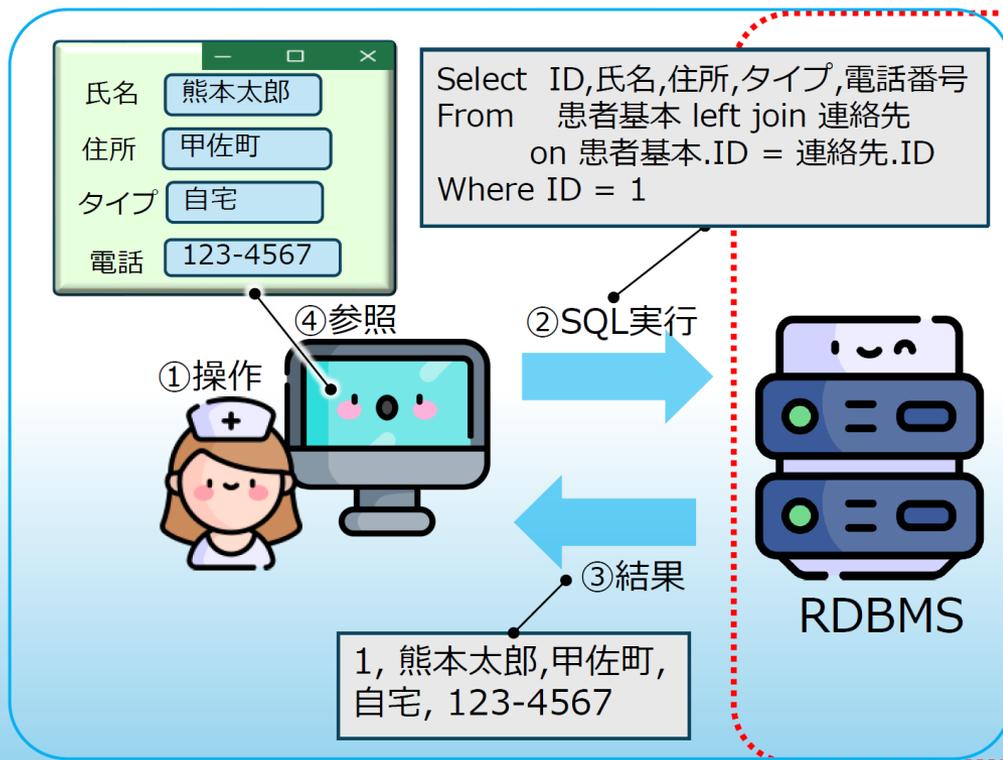


このソフト間のやり取りを自動化（簡素化）しないと、人手が必要になる

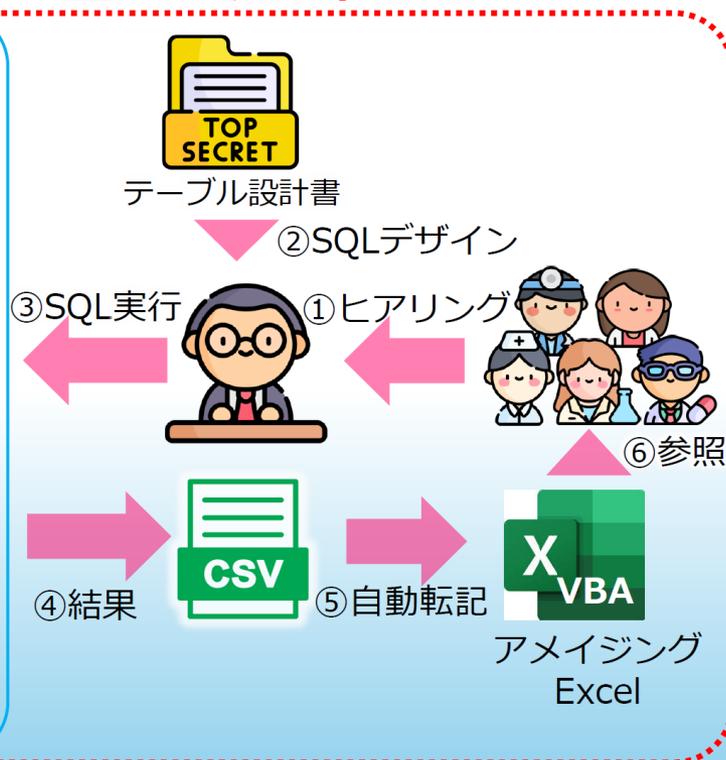
- ・ 確認
- ・ 転記
- ・ インポート、エクスポート

SQL:データベースからデータを直接抽出

通常の電子カルテ検索



全領域無制限検索





ニーズ(項目、期間、粒度)に応じた抽出結果

1) 血圧、SpO2、便回数(は1週間分を1日1列)

| 病室id | 氏名 | 入院日 | 項目 | 7日前 | 6日前 | 5日前 | 4日前 | 3日前 | おとと | 昨日 |
|------|-----|-----------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 302 | 患者A | 2023/5/22 | 1)血圧_拡張 | 136 | 145 | 151 | 149 | 140 | 161 | 158 |
| 302 | 患者A | 2023/5/22 | 2)血圧_収縮 | 85 | 83 | 84 | 78 | 79 | 94 | 90 |
| 302 | 患者A | 2023/5/22 | 3)SpO2 | 99 | 97 | 99 | | 94 | 99 | 99 |
| 302 | 患者A | 2023/5/22 | 4)便回数 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 306 | 患者B | 2023/5/9 | 1)血圧_拡張 | 82 | 94 | 96 | 144 | 129 | 99 | 92 |
| 306 | 患者B | 2023/5/9 | 2)血圧_収縮 | 85 | 87 | 67 | 88 | 73 | 72 | 72 |
| 306 | 患者B | 2023/5/9 | 3)SpO2 | 97 | 99 | 99 | 99 | 99 | 97 | 97 |
| 306 | 患者B | 2023/5/9 | 4)便回数 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 307 | 患者C | 2023/5/15 | 1)血圧_拡張 | 141 | 168 | 183 | 154 | 145 | 161 | 160 |
| 307 | 患者C | 2023/5/15 | 2)血圧_収縮 | 81 | 73 | 77 | 64 | 71 | 81 | 77 |
| 307 | 患者C | 2023/5/15 | 3)SpO2 | 97 | 99 | 99 | 96 | 96 | 97 | 98 |
| 307 | 患者C | 2023/5/15 | 4)便回数 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 307 | 患者D | 2023/5/8 | 1)血圧_拡張 | 112 | 103 | 126 | 105 | 121 | 128 | 109 |
| 307 | 患者D | 2023/5/8 | 2)血圧_収縮 | 60 | 54 | 63 | 60 | 61 | 59 | 54 |
| 307 | 患者D | 2023/5/8 | 3)SpO2 | 97 | 97 | 96 | 97 | 97 | 98 | 97 |
| 307 | 患者D | 2023/5/8 | 4)便回数 | 2 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| 307 | 患者E | 2023/4/24 | 1)血圧_拡張 | 99 | 95 | 116 | 125 | 119 | 104 | 99 |
| 307 | 患者E | 2023/4/24 | 2)血圧_収縮 | 79 | 77 | 80 | 91 | 82 | 70 | 71 |
| 307 | 患者E | 2023/4/24 | 3)SpO2 | 97 | 95 | 96 | 97 | 98 | 96 | 97 |
| 307 | 患者E | 2023/4/24 | 4)便回数 | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |

2) 体温と食事摂取量は3日分を詳細粒度

| 病室 | id | 氏名 | 入院日 | 項目 | 2日前 | | | 一昨日 | | | 昨日 | | | |
|-----|----|-----|-----------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|----|
| | | | | | 朝 | 昼 | 晩 | 朝 | 昼 | 晩 | 朝 | 昼 | 晩 | |
| 302 | | 患者A | 2023/5/22 | 1)体温 | | 35.9 | | | 36.5 | | | | 37 | |
| 302 | | 患者A | 2023/5/22 | 2)主食 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 302 | | 患者A | 2023/5/22 | 3)副食 | 10 | 10 | 9 | 9 | 9 | 10 | 8 | 10 | 9 | |
| 302 | | 患者A | 2023/5/22 | 4)捕食 | | | | | | | | | | |
| 306 | | 患者B | 2023/5/9 | 1)体温 | 35.8 | 36.4 | | | 36.7 | 36.7 | 36.5 | 36.8 | 36.8 | |
| 306 | | 患者B | 2023/5/9 | 2)主食 | | | | | | | | | | |
| 306 | | 患者B | 2023/5/9 | 3)副食 | | | | | | | | | | |
| 306 | | 患者B | 2023/5/9 | 4)捕食 | 10 | 10 | | 9 | 10 | | | | | |
| 307 | | 患者C | 2023/5/15 | 1)体温 | | 36.7 | 37.1 | | 36.5 | 37 | 36.6 | 36.7 | 37 | |
| 307 | | 患者C | 2023/5/15 | 2)主食 | 0 | 0.2 | 7 | 10 | 2 | 2 | 10 | 2 | 2 | |
| 307 | | 患者C | 2023/5/15 | 3)副食 | 0 | 0.2 | 2 | 10 | 3 | 1 | 5 | 0.2 | 5 | |
| 307 | | 患者C | 2023/5/15 | 4)捕食 | 0 | 0.2 | | 10 | 3 | | 10 | 10 | 2 | |
| 307 | | 患者D | 2023/5/8 | 1)体温 | | 36.3 | | | 35.8 | | | | 36.4 | |
| 307 | | 患者D | | | | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | |
| 307 | | 患者D | | | | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | |
| 307 | | 患者D | | | | | | | | | | | | |
| 307 | | 患者E | | | | | | | | | | | | |
| 307 | | 患者E | 2023/4/24 | 2)主食 | 5 | 2 | 6 | 10 | 3 | | | 10 | 5 | |
| 307 | | 患者E | 2023/4/24 | 3)副食 | 8 | 7 | 3 | 10 | 8 | | | 6 | 7 | |
| 307 | | 患者E | 2023/4/24 | 4)捕食 | | | | | | | | | | |

私はこの2つの横持ちリストをオーダー



出退勤のチェックを自動化

ChatGPT 4o

Pythonコードを示して

もちろんです。こちらが最終的なPythonコードです。

```
python
import openpyxl
from openpyxl.styles import PatternFill

# Define exclusion keywords with specific conditions including the multiline keyword
exclude_strings_conditions = {
    "中早(宿)": None,
    "早半": -300,
    "年1": -60
}

# Load the provided Excel file
input_file_path = 'mnt/data/勤務チェック表_4102データベース - コピー.xlsx'
wb = openpyxl.load_workbook(input_file_path)
ws = wb['Sheet1']

# Define the yellow fill for highlighting
yellow_fill = PatternFill(start_color='ffff00', end_color='ffff00', fill_type='solid')

# Loop through each cell in column C with updated conditions
for row in range(4, ws.max_row + 1):
    cell = ws.cell(row, 3)
    cell.fill = yellow_fill
```

ChatGPTにメッセージを送信する

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|----------|-------|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|
| | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 勤務記号 | 日 | 日 | 日 | 日 | × | 日 | 年 | 日 | × | 年 | 日 | × | × | × | × | 日 | 日 | 日 | × | 年 | 日 | 日 | 日 | × | × | 日 | 日 | × | 日 | 日 | |
| 所定始業 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | 08:30 | | |
| 所定終業 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | 17:30 | | |
| 打刻出勤 | 08:13 | 08:12 | 08:09 | 08:13 | | 08:10 | 08:10 | 08:14 | 08:12 | | 08:15 | 08:13 | 08:14 | 08:15 | 08:12 | 08:14 | 08:15 | 08:12 | 08:16 | | 08:12 | 08:12 | 08:12 | 08:12 | 08:12 | 08:12 | 08:12 | 08:12 | 08:12 | | |
| 打刻退勤 | 17:50 | 18:56 | 18:20 | 17:42 | | 17:40 | 17:50 | 17:50 | 17:44 | | 17:44 | 17:44 | 17:44 | 17:39 | 17:39 | 18:05 | 17:39 | 18:08 | 17:50 | | 19:46 | 18:59 | 18:50 | 18:57 | 18:50 | 18:57 | 18:50 | 18:57 | 18:57 | | |
| 所定打刻差出勤 | 17 | 18 | 21 | 17 | | 20 | 20 | 21 | 17 | | 20 | 20 | 22 | 16 | 15 | 17 | 17 | 17 | 17 | | 24 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | | |
| 所定打刻差退勤 | 20 | 86 | 50 | 12 | | 20 | 20 | 16 | 14 | | 16 | 14 | 14 | 9 | 9 | 290 | 35 | 38 | 20 | | 136 | 88 | 80 | 87 | 80 | 87 | 80 | 87 | 87 | | |
| 残業・遅刻・早退 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 2024年 05月 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|-----------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 部署名 | 氏名 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| デササービス | 氏名 | 日 | 日 | 日 | 日 | × | 日 | 年 | 日 | × | 年 | 日 | × | × | × | × | 日 | 日 | 日 | × | 年 | 日 | 日 | 日 | × | × | 日 | 日 | × | 日 | 日 | |
| デササービス | 氏名 | 日 | 日 | 日 | 日 | × | 日 | 年 | 日 | × | 年 | 日 | × | × | × | × | 日 | 日 | 日 | × | 年 | 日 | 日 | 日 | × | × | 日 | 日 | × | 日 | 日 | |
| デササービス | 氏名 | 日 | 日 | 日 | 日 | × | 日 | 年 | 日 | × | 年 | 日 | × | × | × | × | 日 | 日 | 日 | × | 年 | 日 | 日 | 日 | × | × | 日 | 日 | × | 日 | 日 | |
| デササービス | 氏名 | 日 | 日 | 日 | 日 | × | 日 | 年 | 日 | × | 年 | 日 | × | × | × | × | 日 | 日 | 日 | × | 年 | 日 | 日 | 日 | × | × | 日 | 日 | × | 日 | 日 | |

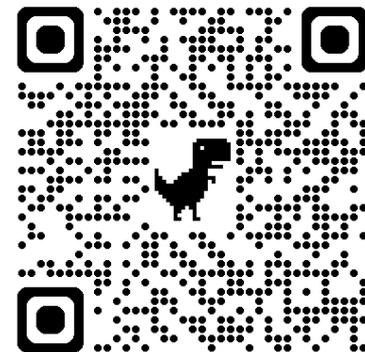


医療DXのトライ & エラーを積み重ねてます



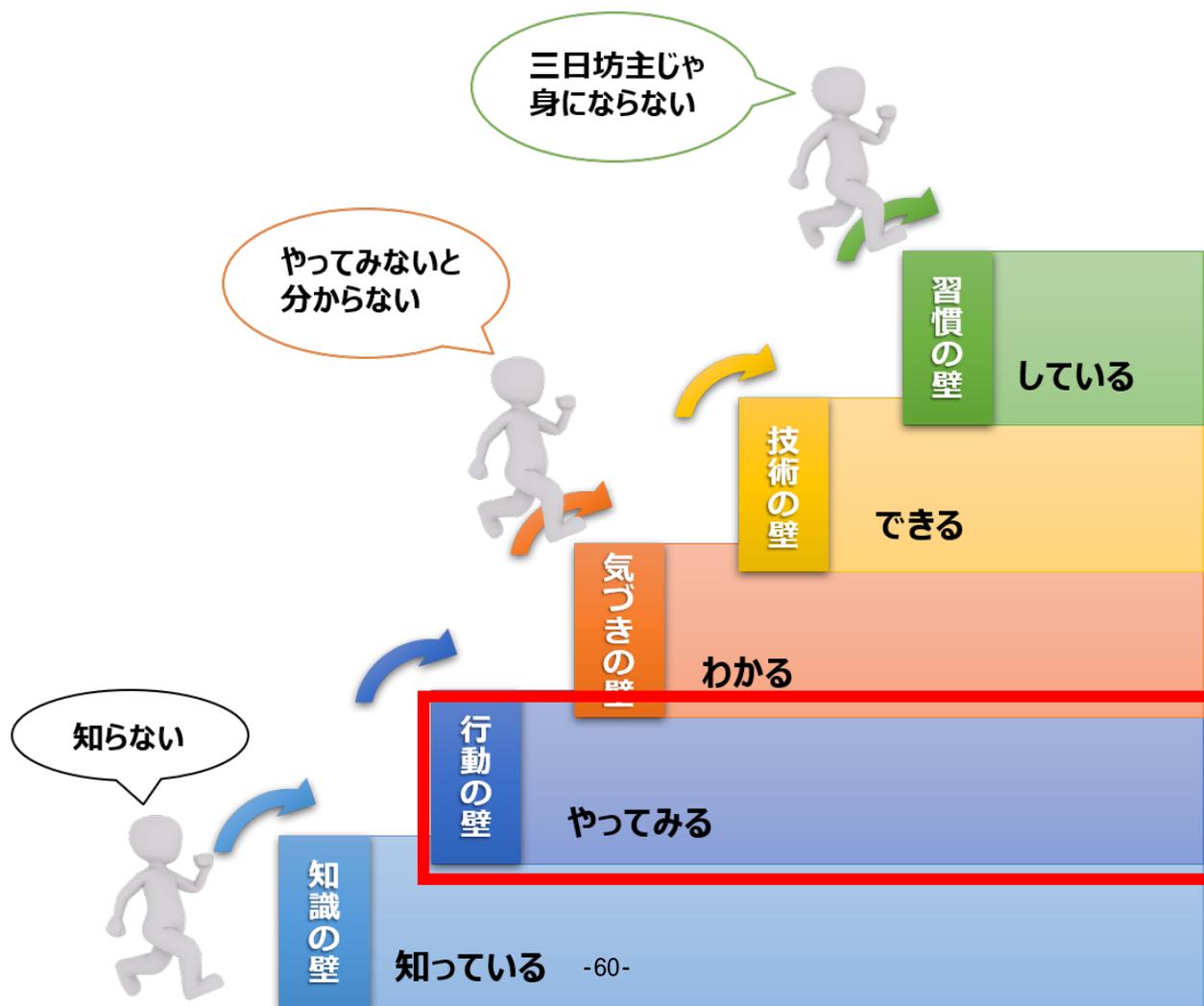
Kawaii Yatsuda

10



リスキリング～知るのと、やるの違い

1年経ってもやる人が増えていかない！！



過去と他人は変えられない！

- IT担当を1名増員でリスクリング
- 藤井がDX10回実践レクチャー
(石原、林田、山口、水上、、、)
- スペシャリスト採用1名
- 外注でプログラム作成

→ 2024年内にDXノウハウをためる！

DX目標

- ・ 3年以内に事務員の業務半減
- ・ 3年以内に医療者がPCに向かう時間を半減



1on1DXリスキリングコース

♡ 1

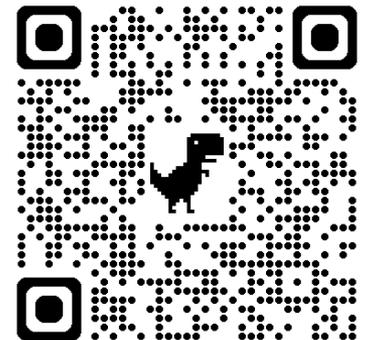


病院経営

2025年1月5日 07:14

プログラミングなんて、なにも分からない人向け

筆者（藤井）はプログラミングを学んだりしたことがない病院の事務長です。それでも、今ではPythonやGAS（Google App Script）といったプログラムを駆使して、いろいろな業務を自動化できています。どうしてそれができ





作成した文書

A vertical sidebar on the left side of the page. It has a dark blue header with a white speech bubble icon and the text '作成した文書'. Below this is a white document icon on a dark blue background, and the rest of the sidebar is a solid dark blue bar.

aly アシスタント

退院サマリー

患者ID 1





<https://www.iohm.jp/wisdombag>



- 医療経営士プラン (月額500円)
- 通常プラン (月額800円)
- 医療機関プラン (月額1,500円)

医療事務・医療経営の実践者 オンラインサロン

病院事務の知恵袋の使い方

医療経営士「藤井塾」の参加者が発起人となり、医療事務・医療経営の実践者が集まるオンラインサロン「病院事務の知恵袋」を始めました。

医療機関で仕事をしていくうえで、分からないことやアイデアが欲しいこと、何か一緒になってやりたいことなどがある時に、投げかけられるFacebookの非公式グループです。

日本中（世界中？）の医療現場で日々頑張っているメンバーと切磋琢磨してモチベーションを維持する機会を目指しています。

オンサロの活用例

- ・ 診療報酬の算定方法に関する疑問
- ・ 価格交渉シナリオに対するアドバイス
- ・ 機能評価受審や監査の時の対応方法
- ・ システム更新に関する留意点や仕様書の書き方
- ・ 制度改正に対応した規定見直しに関するアドバイス
- ・ 施設見学がしたい時のつながり探し
- ・ 医療機器などの購入時の価格等の情報収集



人材育成 プログラム

実践型!

医療DX人材育成プログラム

補助金
対象

実際の病院で医療DXを実施している講師から、そのノウハウを伝える実践型プログラムです。単なる、概念知識やコーディングやプログラムの仕組みを伝える内容ではありません。既存の参加者の病院の課題に沿ったプログラムを自ら作っていく、実践型のプログラムです。

ゴール像

参加者が病院内で実際にDXによる課題解決を推進していくことをゴールとしているため、所属病院の院長や部門長の推薦を必要とします。教育期間中、所属病院からの建設的フィードバックを受け、実データを用いて実習いただくことが望ましいと考えています。

ChatGPT等の生成AIを活用して、ITスキルがなくても効率的にプログラムを作り、業務改善をできるようにします。

講師紹介



谷田病院 IT担当
那須 照広



谷田病院 事務部長
藤井 将志

※講師紹介の詳細は裏面参照

参加条件

参加者が病院内で実際にDXによる課題解決を推進していくことをゴールとしているため、所属病院の院長や部門長の推薦を必要とします。教育期間中、所属病院からの建設的フィードバックを受け、実データを用いて実習いただくことが望ましいと考えています。

参加形式

オンラインにて実施します。基本的にはライブ参加をお願いします。振り返り用、参加できなかった場合にアーカイブ配信もいたします。

時期 2024年11月下旬から開始 1年間

時間 毎回 60分程度

費用 25万円(税込)

募集定員 5名 限定

申し込み [Http://aaaaaaaaaaaa.com](http://aaaaaaaaaaaa.com)

申し込み
こちら▼

QR

ハローワークの「事業展開等リス
キリング支援コース」の補助金

約226,000円が補助金で戻ります

※補助金申請手続き支援いたします

| 分類 | テーマ | 授業回数 | 内容 |
|-----------------|--|------|----------------------------------|
| 【1】 基礎編 / 4ヶ月 | Kickオフ | 1 | 受講者と推薦者(病院長等) 両院によるゴール共有 |
| | Perlのインストール | 1 | アイソプレイク、ソフトのインストール |
| | 変数の取り扱い | 0.5 | スカラー変数の設定と変更 |
| | 四則演算 | 0.5 | 一般的な計算をしてみる |
| | 文字列の取り扱い | 1 | 文字列変数を操作してみる |
| | 配列データの取り扱い | 1 | CSVのデータを配列に代入し、加工する |
| | 連想配列の取り扱い | 1 | CSVのデータを連想配列に代入し、加工する |
| | 多次元配列 | 2 | Real World Dataを多次元配列に保持し、自動処理する |
| | 正規表現 | 1 | 意識する書式のデータであるかを識別する |
| | 構造化処理 (for, while, if) | 2 | 実行したい処理を論理的にまとめる |
| 【2】 関連ツール / 4ヶ月 | 自分で定義する関数 | 1 | プログラムを効率的に記述する |
| | ファイルハンドル | 1 | ファイルの入力・出力やりとり |
| | データ取り扱いに関する作法 | 1 | 文字コードははじめから決めておくべきこと |
| | オープンデータによる自動化事例 | 3 | NDBや厚生労働省開示のデータによる分析・自動化 |
| | PowerShell | 4 | Windows自体のコントロール |
| | VBA | 4 | 最終的な資料等を一連のプログラムとして生成させる |
| 【3】 ツール開発 / 4ヶ月 | R | 6 | 分析、可視化、Perlとの連携 |
| | 振り返りとツール開発に向けて | 2 | 必要に応じて構築 |
| | 所属病院のニーズから自動処理や分析を行うプログラムを作成する。講師と一緒に取り組みつつ、各受講生の専攻を共有し進捗を上げていく。現在はレベルと件数は変動度合いによるため、4ヶ月でできる限り多くのプログラム作成と所属病院での実装を目指す。 | 8 | 隔週で開催。途中実習はウェルカム |

▶▶ウラ面に講師略歴

病院事務長・藤井将志が見据える医院経営DX



谷田病院の「電カルDB全領域無制限検索」——病院事務長・藤井将志が見据える医院...

2024年12月20日(金)



院内DXの本質は業務の簡素化ではなく「医療の質向上」——病院事務長・藤井将志が...

2024年11月20日(水)



「電カルメーカーはビジネスモデルを変革すべき」——病院事務長・藤井将志が見据...

2024年10月23日(水)

AI Lab記事検索



BMAX

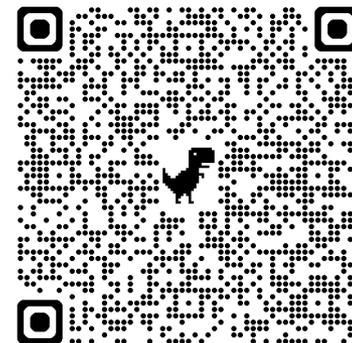
線維化ILD

見落としの不安、ありませんか？



非専門医の読影をAIがサポート

詳細はこちら



AI Lab プロジェクト

遊びに来てください

■ yatsuda-kai.jp

地域医療体験学習（インターンシップ）と病院見学

谷田病院は患者さんだけでなく若い学生（&医師）が気軽に利用できるコミュニティホスピタルを目指しています。

※コミュニティホスピタルとは？病院内で完結せず、地域を巻き込んだり、巻き込まれたり。医療や介護を提供するのではなく、その人の人生に寄り添ったことを提供することを目指しています。

以下の取り組みを行っています。

- ①甲佐町地域医療体験実習コース（目的：在宅診療や地域の病棟・外来を見てみたい）
- ②谷田病院インターンシップコース（目的：まちおこしの企画・実装・起業等）
- ③病院見学（目的:就活、転職）



講師略歴

藤井 将志（ふじい まさし）

特定医療法人谷田会 谷田病院事務部長

◆経歴

早稲田大学政治経済学部を 2006 年に卒業。医療経営コンサルティング会社である(株)アイテック、(株)MM オフィスを経て、2012 年から沖縄県立中部病院・経営アドバイザーとして(NPO 法人病院経営支援機構所属) 経営支援を行う。2015 年から医療法人谷田会・谷田病院(熊本県甲佐町)の事務部長に着任。その他、事業継承した複数の医療法人の理事、ひとまちづくり法人パレットの理事、2020 年から病院経営支援事業である医療環境総研(株)を立ち上げる。医療経営人材の集うオンラインサロン病院事務の知恵袋を運営。これまで経営改善に関わった医療機関・介護施設は 60 施設程度。大学講師は、熊本保健科学大学、熊本学園大学、横浜市立大学、千葉大学、福岡国際医療福祉大学で務める。